

TR-I-0060

電子メール及びニュースに関するユーザズ・マニュアル

Electronic Mail and News User's Manual

野垣内出* 丸山活輝* 北研二*
Izuru NOGAITO* Katsuteru MARUYAMA* Kenji KITA*
 青井周一**
 Shuichi AOI**

1988.12.19

ATR 自動翻訳電話研究所

version 1.0

概要

ATR自動翻訳電話研究所では、研究環境の一環として、電子メール及びニュースのサービスを行っている。これらの使用法、一般ユーザを対象に概略説明および操作説明書を作成した。ここでは、特に当研究所の環境に合わせた使い方についての説明に重点を置いた。

*ATR 自動翻訳電話研究所

*ATR Interpreting Telephony Research Laboratories

** 日進ソフトウェア(株)

** NISSIN Software Company

目次

1. ATR内でのネットワーク環境	1
2. メール・ニュースシステムの概要(JUNET対応版)	
2.1 電子メールについて	7
2.2 ニュースについて	11
2.3 ATRのネットワーク・アドレス	12
3. メールの読み方、出し方	
3.1 mail コマンド	13
3.2 emacs からのrmail、smail	18
3.3 Nemacs からのrmailなど	29
4. ニュースの出し方	
4.1 Pnews コマンド	43
5. ニュースの読み方	
5.1 readnews コマンド	48
5.2 rn コマンド	52
5.3 Nemacsからのrnews コマンド	60

付録

A	readnewsユーザーズガイド
B	rnユーザーズガイド
C	vnユーザーズガイド
D	JUNET内のサイトマップ

1. ATR内でのネットワーク環境

1.1 ATRネットワーク環境

この図(fig.1)は、ATR内での主なマシンの接続状況を示したものです。これ以外に、ローカルエリアネットワークでつながっているサイトも数多くある。

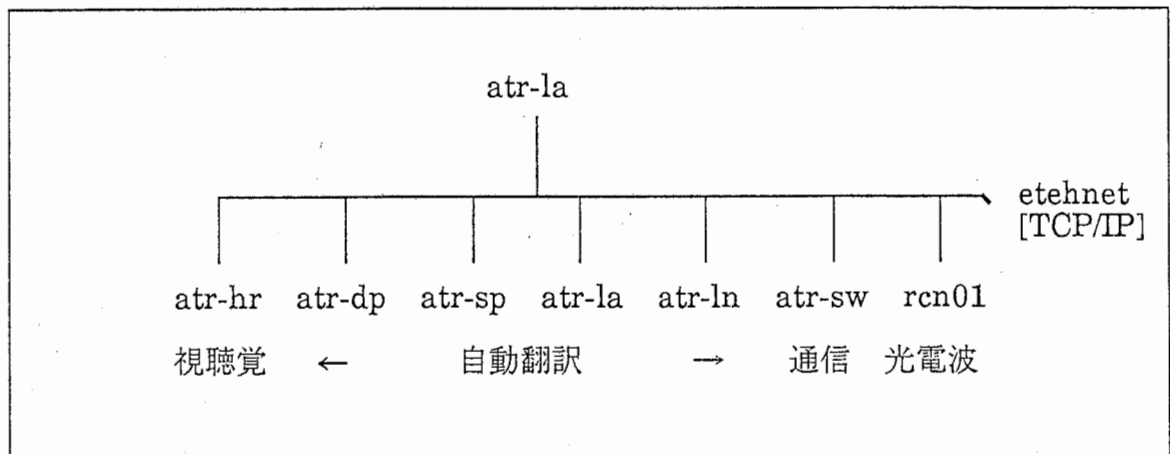


fig.1 ATR内でのネットワーク環境

メインドメイン	atr (atr-laと実体は同じ) atr-la (vax8600/ultrix1.2)
サブドメイン	atr-ln (vax8600/ultrix2.0) atr-sp (vax8800/ultrix2.0) atr-dp (vax8810/ultrix2.0) atr-hr (vax8650/ultrix2.0) atr-sw (vax8650/ultrix2.0) rcn01 (convex/ ?)
その他	マイクロ vax、sun、シンボリックス等 (次ページ参照)

外部との接続は、メインドメインである atr-la が行い、今現在 nttl原因. と kddl原因. に接続されている。海外にメールを送る場合、kddの国際科学技術通信網利用クラブ(通称InetClub)を通じて送られる。国内向けのメールで、京都大、大阪大、九州大、神戸大の各サイトは nttl原因. を通じて、それ以外のサイトについては kddl原因. に転送される。

ローカルエリアネットワークでつながっているホスト名は、/etc/hostsに記述されている。次ページに atr-la の/etc/hostsを載せた。また、LANでつながっていても、メールのやり取りができるのは、/etc/hosts.equivに記述されているホストだけである。

*資料 /etc/hosts (atr-la)

```
#
#
# Host Database
#
127.0.0.1      localhost
#
192.10.1.1     1m01          # Symbolics No.1
192.10.1.2     1m02          # Symbolics No.2
192.10.1.3     1m03          # Symbolics No.3
192.10.1.4     h1m01        # Symbolics No.4
192.10.1.5     1m05          # Symbolics No.5
192.10.1.6     1m06          # Symbolics No.6
192.10.1.7     c1m01        # Symbolics No.7
192.10.1.8     1m07          # Symbolics No.8
192.10.1.9     1m08          # Symbolics No.9
192.10.1.10    1m09          # Symbolics No.10
192.10.1.11    1m10          # Symbolics No.11
192.10.1.12    h1m02        # Symbolics No.12
192.10.1.13    c1m02        # Symbolics No.13
192.10.1.14    c1m03        # Symbolics No.14
192.10.1.15    c1m04        # Symbolics No.15
192.10.1.16    c1m05        # Symbolics No.16
192.10.1.17    1m11          # Symbolics No.17
192.10.1.18    1m12          # Symbolics No.18
192.10.1.19    1m13          # Symbolics No.19
192.10.1.20    c1m06        # Symbolics No.20
192.10.1.21    c1m07        # Symbolics No.21
192.10.1.22    c1m08        # Symbolics No.22
192.10.1.23    1m14          # Symbolics No.23
192.10.1.24    1m15          # Symbolics No.24
192.10.1.25    1m16          # Symbolics No.25
192.10.1.26    h1m03        # Symbolics No.26
#
192.10.1.50     atr-la  la      mailhost # VAX 8600 for LA
192.10.1.51     atr-sp  sp      ATR-SP   # VAX 8700 for SP
192.10.1.52     atr-hr  hr      ATR-HR   # VAX 8600 for HR
192.10.1.53     atr-vi  vi      ATR-VI   # VAX 8600 for VI
192.10.1.54     atr-mu  mu      ATR-MU   # VAX 8650 for MU
192.10.1.55     atr-cs  cs      ATR-CS   # VAX 8600 for CS
192.10.1.56     atr-ln  ln      ATR-LN   # VAX 8600 for LN
192.10.1.57     atr-sw  sw      ATR-SW   # VAX 8650 for SW
192.10.1.58     atrvvp vp      ATRVVP   # VAX 8550 for VP
192.10.1.59     atr-dp  dp      ATR-DP   # VAX 8810 for DP
#
192.10.1.100    atrv01 v01          # Micro VAX II No.1
192.10.1.101    atrv02 v02          # Micro VAX II No.2
192.10.1.102    atrv03 v03          # Micro VAX II No.3
192.10.1.103    atrv04 v04          # Micro VAX II No.4
192.10.1.104    atrv05 v05          # Micro VAX II No.5
192.10.1.105    atrv06 v06          # Micro VAX II No.6
192.10.1.106    atrv07 v07          # Micro VAX II No.7
192.10.1.107    atrv08 v08          # Micro VAX II No.8
192.10.1.108    atrv09 v09          # Micro VAX II No.9
192.10.1.109    rv01   r01          # Micro VAX II No.1 (R)
```

192.10.1.110	atr v10	v10	# Micro VAX II No.10
192.10.1.111	atr v11	v11	# Micro VAX II No.11
192.10.1.112	atr v12	v12	# Micro VAX II No.12
192.10.1.113	atr v13	v13	# Micro VAX II No.13
192.10.1.114	atr v14	v14	# Micro VAX II No.14
192.10.1.115	atr v15	v15	# Micro VAX II No.15
192.10.1.116	atr v16	v16	# Micro VAX II No.16
192.10.1.117	atr v17	v17	# Micro VAX II No.17
192.10.1.118	atr v18	v18	# Micro VAX II No.18
192.10.1.120	atr v20	v20	# Micro VAX II No.20
192.10.1.121	atr v21	v21	# Micro VAX II No.21
192.10.1.122	atr v22	v22	# Micro VAX II No.22
192.10.1.123	atr v23	v23	# Micro VAX II No.23
192.10.1.124	atr v24	v24	# Micro VAX II No.24
192.10.1.125	atr v25	v25	# Micro VAX II No.25
192.10.1.126	atr v26	v26	# Micro VAX II No.26
192.10.1.127	atr v27	v27	# Micro VAX II No.27
192.10.1.128	atr v28	v28	# Micro VAX II No.28
192.10.1.129	atr v29	v29	# Micro VAX II No.29
#			
192.10.1.159	as01		# SUN-4 (12F)
#			
192.10.1.160	cs01	c01	# SUN No.1
192.10.1.161	cs02	c02	# SUN No.2
192.10.1.162	cs03	c03	# SUN No.3
192.10.1.163	cs04	c04	# SUN No.4
192.10.1.164	cs05	c05	# SUN No.5
192.10.1.165	cs06	c06	# SUN No.6
192.10.1.166	cs07	c07	# SUN No.7
192.10.1.167	cs08	c08	# SUN No.8
192.10.1.168	cs09	c09	# SUN No.9
192.10.1.169	cs10	c10	# SUN No.10
192.10.1.170	cs11	c11	# SUN No.11
#			
192.10.1.180	ra01		#
#			
192.10.1.200	hm01	m01	# MASSCOMP No.1
192.10.1.201	atrm01	m04	# MASSCOMP No.2(ITL)
192.10.1.202	hm03	m03	# MASSCOMP No.3
192.10.1.203	hm02	m02	# MASSCOMP No.4
192.10.1.204	hm05	m05	# MASSCOM No.5(vision)
192.10.1.206	hm07	m07	# MASSCOM No.7(vision)
192.10.1.207	hm08	m08	# MASSCOM No.8
#			
192.10.1.220	hmv01		# No.1
#			
192.10.1.230	ri01		#
192.10.1.231	ciris01		#
192.10.1.232	atr-ap	ap	#
192.10.1.233	rcn01		#
192.10.1.234	rpc01		#
192.10.1.238	aelis1		
#			
192.10.1.251	hap01		# ALLIANT

1.2 ログイン方法

1.2.1 ターミナルサーバにつながっている cit600の場合

- 1) 電源を入れる。
- 2) コネクターでログインしたいマシンに接続

DEC server 100 Terminal Server V1.3(BL15) - LAT V5.1

Enter username> post ユーザ名の入力

Local> c(onnect) atr-la 各サイトとの接続(カッコ内省略可)

Local -010- Connect to ATR-LA established as session 1

Ultrix V1.2(atr-la)

login: post

passwd:

%

- 3) 複数のマシンに一つの端末からログインする方法

上の状態でログインしたまま Breakキーを入力

Local> c atr-ln 他のサイトへの接続

Local -101- 1 other session(s) active

Local -010- Connect to ATR-LA established as session 2

Ultrix V2.0(atr-ln)

login: post

passwd:

%

- 4) 前にログインしたatr-laに接続したい場合

Breakキーの入力

Local> for(ward)

Local -012- ATR-LA session 1 resumed

- 5) 自分がターミナルサーバからどのサイトに接続しているか調べる。

Breakキーの入力

Local> s(how) ses(sion)

- Session 1: ATR-LA	Connect	Interactive
- Session 2: ATR-LN	Connect	Interactive
- Session 3: ATR-SP	Connect	Interactive

- 6) 上の3番目に接続したatr-spに再度ログインしたい

Breakキーの入力

Local> r(esume) 3

Local -012- ATR-SP session 3 resumed

- 7) どのサイトがログイン可能か調べる。

Breakキーの入力 ステータスがavailableならOK

Local> s(how) ser(vice)

Service Name	Status	Announcement
ATR-HR	Available	ULTRIX LAT SERVICE(atr-hr)
ATR-LA	Unkown	ULTRIX LAT SERVICE(atr-la)
ATR-LN	Available	ULTRIX LAT SERVICE(atr-ln)
ATR-SP	Available	ULTRIX LAT SERVICE(atr-sp)
ATR-SW	Available	ULTRIX LAT SERVICE(atr-sw)
	:	
	:	
	:	
	:	
	:	
	:	
	:	
	:	

1.2.2 マイクロvax等ターミナルサーバに接続されていない場合

マイクロvaxにログインしてからrloginで各サイトに接続

Ultrix V2.0-1(atrv08)

login: ログイン名

passwd:

%rlogin atr-la

2.1 電子メールとは

一台のコンピュータの上でも、他人に伝えたいことがあるがその相手が目の前にはいない場合や、伝えた内容を記録しておきたい場合には電子メールを使うことがよくあります。しかしこの場合、メールが伝わるのはそのコンピュータに頻繁にログインする人だけですから、その有効性は限定されます。

ATR内では、特にこのメールが頻繁に使われています。ちょっとした報告などいちいち相手のところまで行くというのは、たいへん不便です。そこで、メールによるデータ転送、簡単なメッセージの送信などが有効な情報伝達的手段として運用されています。

一方大きなネットワークの上では、多くの人が存在します。昔からの知り合いもいれば、投稿されたニュースなどにより、自分が興味をひかれる人も生じるでしょう。このような人達とプライベートな通信を行なうのが電子メールの役割であり、その真価は、いろいろな受手がいる大きなネットワークの上でこそ発揮されるのです。

JUNETが提供する電子メールサービスは以下のようなものです。

JUNETで提供されるサービスには電子メールとネットワークニュースがあります。どちらもサイトからサイトへバケツリレー式に中継することによって伝えられますが、ニュースの内容が、全サイトに広められ、JUNETの利用者全体へのメッセージを伝えるのに対して、メールは特定の相手にしか伝わりませんので、プライベートな通信に使われます。

JUNETの住人は誰でも送受信することができます。メールはバケツリレー式にサイトからサイトへ伝えられます。ボランティアによって分散管理されており、各サイトのメールシステム管理者(ポストマスターと呼ばれる、計算機そのものの管理者と同じだとは限らない)と有志がメールの受信、次のサイトへの転送等の機能の維持管理を行っています。

USENET、CSNET、ARPANETなど海外のネットワークと接続しており、JUNETとの間でメールのやりとりができます。ただし、海外とのやりとりは無料ではなく、中継機関にそれなりの登録が必要です。ATRでは、Inet clubに所属しているので、海外に向けてメールやニュースを送ることが出来る。その時に、送り先のアドレスを再確認しましょう。

2.1.1 各種のメールシステム

メールを送受信するためのソフトウェアには、mail、mailx、mh、mhe、mh-e、mhv、rmail、elmなどがあります。BSD系のシステムには、mailという名のコマンドに、/bin/mailと/usr/ucb/mailの二種類があり、通常の設定では単にmailとコマンドを入力すると、機能の豊富なucb/mailが使われるようになっています。一方SystemV系のシステムでもやはり、/bin/mailはありますが、ucb/mailにはほぼコンパチブルなものとして、mailxも持つシステムが多いです。その他のソフトウェアは非標準的なもので、サイトによってあったりなかったりします。また、ニュースシステム内には、他人の記事に対してメールを出すための機能があり、それを使うこともあります。

メールシステムはそれぞれに特徴を持ちますが、この記事では、どこでも共通に使える/bin/mailコマンドを中心に解説します。ただ、/bin/mailのユーザーインターフェイスはあまり良くないので、ucb/mailやmailxあるいはその他のメールシステムが使える人は、そちらを使うことをお勧めします。

ucb/mailとmailx(以後まとめてucb/mailとよびます。)のコマンド体系は、基本的には/bin/mailの拡張ですから、/bin/mailの使用法の説明はucb/mailを使うときにもあてはまります。ucb/mailのその他の拡張点としては、豊富なオプションや内部変数を持ち、それが環境変数やホームディレクトリにあるmailrcというファイルを通じて指定できることです。後ほど、mailの使い方とemacsからのrmail、smailの使い方については詳しく説明致します。(3.1項、3.1項参照)

2.1.2 メール の 構造

メールはヘッダと呼ばれる各種の管理情報からなる部分に、本文がくっついた構造をしています。ヘッダには、差出人、受取人のアドレス、配達経路などの基本的な情報のほか、さまざまな付加情報が追加でき、賢いメールシステムを使えば、この情報を、指定したり利用したりできます。

以下に示すのが、よく使われるヘッダです。

Received:

そのメールが配達された経路のコンピュータの名前とその時間を示します。

Date:

メールの発信時刻を示します。

From:

メールの差出人を示します。

Return-Path:

メールに返答する場合の経路を示します。

Message-Id:

メール一通ごとにユニークなIDです。

To:

メールの直接の宛先を示します。

Cc:

カーボンコピー(Carbon Copy)の略で、直接の宛先ではないが、参考としてこちらにも同じ内容のメールが送られます。

Subject:

メールの内容を簡単に記述した文を書きます。

Return-Receipt-To:

相手先のサイトにメールが到着したら、ここに書いたアドレスに配達証明が送られてきます。ただ、受け取った側のメールシステムがこの機能をサポートしているとは限らないので、あまりあてにはなりません。メールの本文に、必ず返事をくださいと書いたほうが確実です。

2.1.3 その他知っておくと便利なこと

エイリアス(alias)

多くのメールシステムでは、相手のアドレスを直接書かなくともニックネームと正式アドレスを登録しておけば、以後ニックネームの指定だけで、正式アドレスに変換されます。この機能をエイリアスといいます。たとえばucb/mailでは、.mailrcに、

```
alias foo b39466@tansei.u-tokyo.JUNET
```

という行をいれておけば、以後、“mail foo”というかたちで、b39466@tansei.u-tokyo.junetさんへメールが送れます。また、グループエイリアスといって、一つのニックネームで複数の相手を指定することもできます。

カーボンコピー(Carbon Copy)

ucb/mailでは、入力中に‘+’+c’コマンドを使えば指定できます。また、.mailrc中に、“set askcc”という指定をしておけば、メールシステムのほうから、カーボンコピーの相手を聞いてきてくれます。

フォワード(forward)

自分が複数のコンピュータにアカウントを持っているが、メールはすべて、一台のコンピュータで読みたい場合、他のコンピュータのホームディレクトリにforwardというファイルをつくり転送先のアドレスを書き込んでおくと、BSD系のUNIXでは、そのコンピュータについてのメールはすべてそこに書いたアドレスに転送されます。SystemV系のUNIXを使っている場合は、ポストマスターやスーパーユーザにたのめば、なんとかなるでしょう。まちがったフォワードの指定をすると、メールが届かなくなってしまうので、自分で転送元にメールしてみ、確実に転送されることを確認しておきましょう。

フォルダー(folder)

届いたメールを整理して入れておくためのファイルです。複数のフォルダーを使って、メールを差出人や、話題に応じて仕分けておくと、あとで便利です。内部のフォーマットは、システム側でユーザーがまだ読んでいないメールをいれてあるファイル(通常BSDでは/usr/spool/mail、SystemVでは/usr/mailにある)と同じですので、フォルダー内部のメールを読む時もメールシステムがつかえるようになっています。ucb/mailには、このための“folder”コマンドがあります。

メールリスト(mail-list)

メールリストとは、USENETやJUNETのニュースとは異なった形で運営されている情報交換のシステムです。ニュースは、USENETやJUNETに接続されたほとんどのサイトに流れ、それを皆で読む形になっていますが、mail-listの場合、登録された各ユーザ個人に宛ててメールの形で送られてきます。一般性のない話題や、参加者を特定したい場合に使われます。fj.mail-listsにはいくつかの米国のメールリストが転送されていますので、のぞいてみれば雰囲気はわかります。

2.2 ニュースとは

ニュースとは、電子掲示板といわれるものである。テーマや議題によっていろいろなグループを形成し、自分の好きなものを選んで講読でき、その記事に関する投稿などができるようになっている。ATRでは、JUNETとの接続により国内で流れているニュースはもちろん、海外のニュースを読むことができる。ATR内だけのローカルなニュースグループを作っているため、行事の連絡やミーティングの開催等の重要な情報伝達の手段として用いられている。特に、atr.itlとatr.generalは重要なグループなので、朝ログインしたら必ず読む習慣を付けるようにしましょう。うっかり、ミーティングに参加できない等の不都合が生じる可能性があるのので気を付けて下さい。また、読むだけでなく、積極的に問題定義や情報交換の場として活用しましょう。

*JUNETが提供するニュース(ネットワークニュースともいう)の特徴

JUNETのニュースは、「電子掲示板システム(BBS)」の一種です。ただ、一般の商用パソコン通信におけるBBSシステムとは、次のようなちがいがあります。

商用パソコン通信のBBS

JUNETのニュース

共通の話題は決められたボードに書く	ボードではなくニュースグループという
中心になるコンピューターが1台あり、それに接続したパソコンからアクセスする	センターコンピューターではない。どのコンピュータも同格で、各コンピュータごとに繋がっている端末からアクセスする
ボードのデータはホストコンピューターのメモリやディスクに蓄えられる。	データはコンピュータへバケツリレー式に伝わり、各コンピュータごとに蓄えられる
したがって、ボードに書き込んだデータはその直後に(全国で同時に)読める	バケツリレー式に伝送されるので、JUNET全体に届くには時間がかかる
管理者はほとんど専従で、営利目的で営業されている。	管理者はボランティア 非営利の実験ネットワーク

*一般の商用パソコン通信BBSでは『ボード(掲示板)』と呼ばれる、ある特定の興味や話題ごとに分けられたグループを、JUNETでは『ニュースグループ』と呼んでいます。

JUNETのニュースは、誰でも読み書きできます。投稿は特定の個人にではなく、投稿者が所属するコンピュータ内の、指定したニュースグループに溜められます。隣接ホストは定期的に通信してニュースをやりとりし、自分のコンピュータにないメッセージは隣にもらい、相手にないものは送り、内容をつねに更新しています。

JUNETでは、アメリカの“USENET”上のニュースも受信しており、JUNET上で読むことができます(もちろん、日本語ではありませんが)。また、それに投稿することもできます。しかし、その記事を読んだ読者が Reply をしてその筆者にメールを送ろうとすると、その手紙はニュースの日本側のゲートウェイである kddlab から日本に入ってくる可能性が高いです。投稿するときには、記事の中に“このアドレスに Reply してください”というように自分の海外からの正しいアドレスを書いておいてください。

2.3 ATRのネットワーク・アドレス

2.3.1 日本国内(JUNET)のネットワーク・アドレス

対外的なATRのアドレスは、 atr.junet となっています。以下に、各R&Dのホスト・マシンのアドレスを示します。

atr-la.atr.junet	(自動翻訳)
atr-hr.atr.junet	(視聴覚)
atr-sw.atr.junet	(通信)
rcn01.atr.junet	(光電波)

例えば、他のサイトからatr-laの丸山さんにメールが送られてくる場合、
maruyama@atr-la.atr.junet というアドレスを指定します。

2.3.2 海外からのメール・アドレス

海外からメールを送られる場合、JUNETのアドレスを直接使うことはできません。転送経路により、アドレスの指定方法が変わります。ATRでは、Inetclubを通じて海外向けメールのサービスを行っているので、次のような指定となります。

[例]

ATRから海外へ (自動翻訳の丸山さんがCMUのドナルドさんにメールを送る)

mail donald@cmu.edu

海外からATRへ (CMUのドナルドさんが自動翻訳の丸山さんへメールを送る場合)

mail maruyama%atr-la.atr.junet@uunet.uu.net もしくは
mail maruyama%atr-la.atr.junet%kddlabs.junet@uunet.uu.net

ここで注意してもらいたいのは、ATRから海外にメールを送った場合に、上記のリターン・アドレスを必ず明記して、そのアドレス宛にメールを転送するように要請して下さい。

3. メールの読み方、出し方

- 1) mail(unix上に普通用意されているツール)
- 2) emacsのコマンド rmail、smail
- 3) Nemacs(Gnuemacsの日本語版)

メールを読むためのツールとして、これらが用意されている。順に高度な使い方ができ、その機能について以下順に説明していく。

3.1 mailコマンドの起動

3.1.1 メールの読み方

%mail

コマンド入力します。(% はunixプロンプトです。)

メールが来ている時は、たとえば次のような応答がでます。

```
Mail version 2.18 5/19/83.Type ? for help.
"/usr/spool/mail/maruyama": 2 messages 2 new
>N 1 Postman Wed Jun 24 14:35 11/304 "test1"
  N 2 Postman Wed Jun 24 14:38 11/304 "test2"
&
```

これは、Postmanから新しいメールが2通来ていることを示しています。

N1が、1通め、N2が2通めです。

(最後の行の&は、メールコマンドのプロンプトです。)

1通めのメールを見たい場合は、&プロンプトに続けて1を入力します。

& 1

これで1通めのメールのヘッダーと本文を読む事ができます。

メールを見終わって抜けるには、

& q

と入力します。(この時、見終わったメールは自動的にホームディレクトリーのmboxにセーブされます。)

&プロンプトでのコマンドは、?を入力すると見ることができます。

&?

コマンド一覧表

コマンド	メッセージ出力
t<message list>	次のメッセージを出力する。
n	メッセージを編集する。
e<message list>	ヘッダーだけ出力する。
f<message list>	メッセージを削除する。
d<message list>	fileにメッセージを加える。
s<message list>file	メッセージの削除を取り消す。
u<message list>	返事を出す。(送信者 受信者へ)
r<message list>	返事を出す。(送信者へのみ)
R<message list>	メッセージを /usr/spool/mail へ戻す。
pre<message list>	特定の人にMailする。
m<user list>	mboxにメッセージをセーブしてメールシステムから抜け出す。
q	systemのmboxにメッセージを残してメールシステムから抜け出す。
x	現在のmailのmessage headersを表示。
h	シェルエスケープ
!	ディレクトリを変更する。
ch[directory]	
A<message list>	consists of integers, ranges of same, or user names separated by spaces. If omitted, Mail uses the last message typed.
A<user list>	consists of user names or distribution names separated by spaces. Distribution names are defined in .sendrc in your home directory.

3.1.2 メールのおし方

1) ATR内部に送る場合

たとえば、丸山宛に、送るには、まず

```
%mail maruyama@atr-la
```

とコマンド入力します。ここで、

maruyamaは宛先のユーザ名
atr-la はホスト名

です。

この後に、メールの本文を入力します。

本文の入力が終了したら、

Ctrl-D

を入力します。これで、メールが送られました。

2) Junetのユーザ(ATR外部)におくる場合

たとえば、

```
%mail konishi@kddspeech.kdds.junet
```

と入力します。

ここで、

konishiは宛先のユーザ名
kddspeechはホスト名
kddsはドメイン名

です。

この後は、内部宛の場合と同じです。

*mailはEmacsでも使用することができます。
別のマニュアルを参照してください。

3.1.3 Mailの管理の仕方

%mail -f filenameでfilenameのなかのmailを管理できます。1.Mailの読み方を参考にしてください。

よく使われるのは, senderごとに管理する方法でたとえば,

Mr.MaruyamaからきたMailはmaruyamaというfileに残していきます。

これはmailのなかで & s maruyama とやれば順にたされてゆきます。

[実行例]

```
csh>mail
Mail version 2.18 5/19/83.  Type ? for help.
"/usr/spool/mail/dump": 1 message
> 1 dump      Mon Apr 18 12:45 16/345 "test"
&
Message 1:
From dump Mon Apr 18 12:45:10 1988
Received: by atr-ln.atr.junet (1.2/6.3Junet-Atr(1.0-0.1))
      id AA01669; Mon, 18 Apr 88 12:45:09+0900
Date: Mon, 18 Apr 88 12:45:09+0900
From: dump (The system Dumper)
Message-Id: <8804180345.AA01669@atr-ln.atr.junet>
To: dump
Subject: test
Status: RO
```

This is mail test test test.....

from aoi shhuichi

```
&
At EOF
& s aoi
"aoi" [New file] 16/345
& q
csh> mail -f aoi
"aoi": 1 message
&
Message 1:
From dump Mon Apr 18 12:45:10 1988
```

Received: by atr-ln.atr.junet (1.2/6.3Junet-Atr(1.0-0.1))
id AA01669; Mon, 18 Apr 88 12:45:09+0900
Date: Mon, 18 Apr 88 12:45:09+0900
From: dump (The system Dumper)
Message-Id: <8804180345.AA01669@atr-ln.atr.junet>
To: dump
Subject: test
Status: RO

This is mail test test test.....

from aoi shhuichi

& q
csh>

3.2 EMACSでMAILを扱う方法

【はじめに】

Unix上でMailを取り扱う方法は、いくつかあり、mailというソフトも実は2つある。ここではEmacs(Gosling version)のもとにMailを扱う方法を述べる。

なお、EmacsからMHをつかう方法もあるが、ここでは触れないので、プロフェッショナルunixなどを参考にしていきたい。MHは各ユーザが個人のfileをINSTALLする必要がある。/usr/newにあるので、実行すればEmacsから使えますから、頑張ってください。

【MailからEmacsに乗り換えるといい事があるか。】

mailと比較すると

- 1 全てのmailがfileに分割されMessagesというDirectoryの下に管理される。このことから、mail -f mboxのようにmessageの番号を頼りに探すのではなくwindowにmailを表示させながら検索できるなどEmacsの機能を活用できる。
- 2 出したmailも管理
使ってみると便利な機能である。また来たmailに返事を書く時に宛名の自動作成、と同時にmailに返事したことを示すマークを付けてくれる。
- 3 Emacsの機能が使える。
代表的なものとしては、検索、置換、切り貼りなどがある。
- 4 Jemacsでも全く同様に使用できる。
~/emacs__proを書き換えれば、Gosling version Emacsと同機能でJemacsでmailが扱える。

【Mail→Emacsに移る方法】

すべて昔の手紙は1つのfile "mbox"に入っているとする。

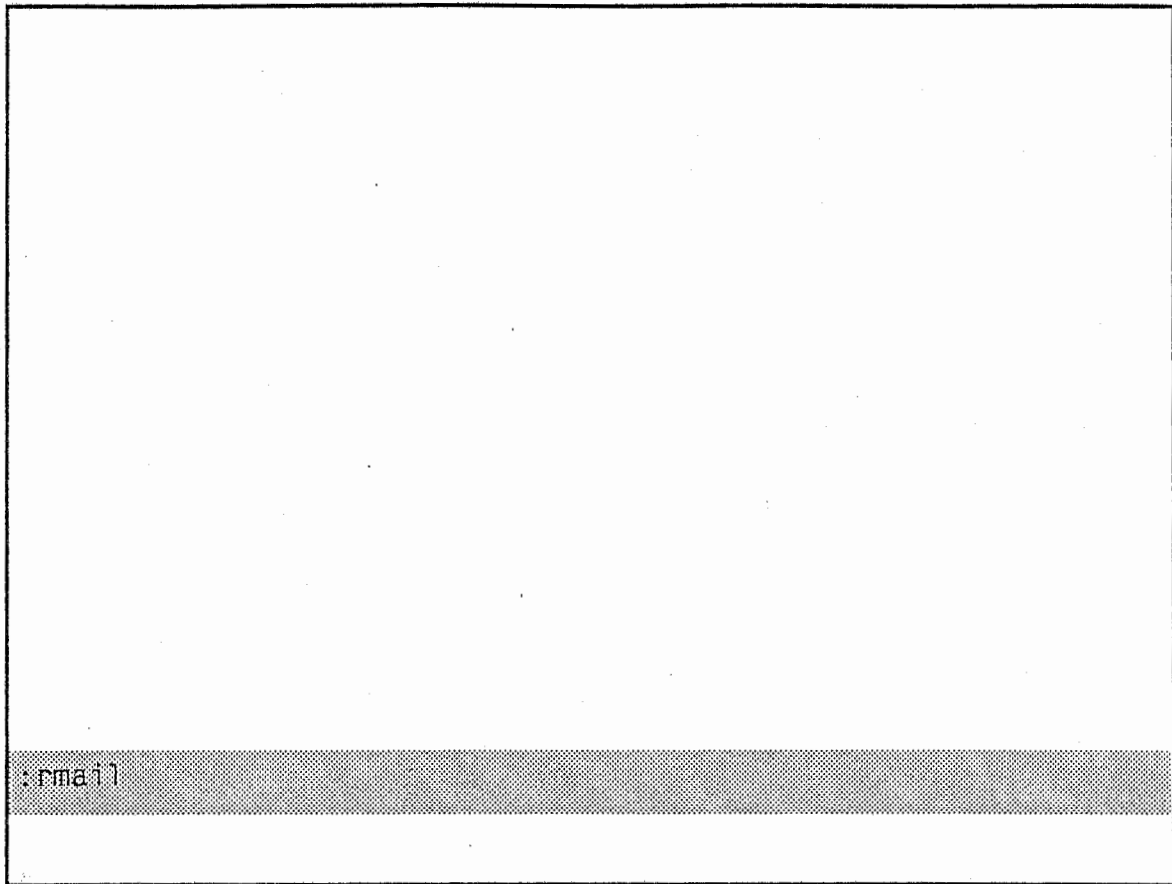
もし、そうでなければ

```
% cat x x x > oldmail (××××は手紙のfile名)
% mv oldmail mbox
```

```
cp mbox BlindBox
```

でEmacsからmailが扱える。

3.2.1 メールの読み方、書き方



<図-1>メールの読み方

まず、Emacsを呼び出し

ESC-x

として

rmail

と入力します。(図-1)

(以下 ESC- エスケープキー

^ コントロールキー

とする。)

*emacsを利用する前に、端末設定がすんでいること。

"set"で term の所に端末名があれば,ok。

なければ".login"か".cshrc"に"set term = your-terminal-name"たとえば

"set term = cit600noga1"を書込み、loginしなすか、"source.login

(.cshrc)"おこなうこと。

From dump Thu Mar 31 13:10:11 1988
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: test
To: aoi

This is mail test
Do you receive this mail?

Current message [Top]

A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 question of
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re:question
N 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du Re: test

A: 返事がすんだ手紙
B: その返事、または送った手紙
n: 読んだ新しい手紙
N: 読んでいない新しい手紙
D: 消したい手紙

^Xnで次のWindowに移る。

下のWindowでp(^P)で上、n(^N)で下に移動し、それにともないmailの内容が上のWindowに出る。

From dump Thu Mar 31 13:10:11 1988
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: test
To: aoi

This is mail test
Do you receive this mail?

Current message [Top]

Date: Thu, 31 Mar 88 31:22-EST
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: Re: test
To: dump(system dumper)
Message-id: <8803230516.AA14031@atr-la.atr.junet>
In-Reply-To: dump's message of Thu, 31 Mar 88 1311 09+0900

-

Current message [[Bottom]]

下のWindowで"r"をうつと、その位置の手紙に返事をするModeとなる。
下のWindowが図のように変わり、Headerも自動生成してくれる。
^Nで順に下に移動しながら、手紙を書けばよい。

From dump Thu Mar 31 13:10:11 1988
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: test
To: aoi

This is mail test
Do you receive this mail?

Current message [Top]

Date: Thu, 31 Mar 88 31:22-EST
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: Re: test
To: dump(system dumper)
Message-id: <8803230516.AA14031@atr-la.atr.junet>
In-Reply-To: dump's message of Thu, 31 Mar 88 1311 09+0900

This is return mail, can you get it ?

Current message [[Bottom]]

Sending

手紙を書いたら、^Cで送信する。

From dump Thu Mar 31 13:10:11 1988
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: test
To: aoi

This is mail test
Do you receive this mail?

Current message [Top]

A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 question of
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re: question
A 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du test
B 04221646571001 Thu, 31 Mar =>dump (system Re: test

mail from message file /usr6/aoi/Messages [99%]

Send

送り終われば、返事と返事ずみのMarkが残る。

From dump Thu Mar 31 13:10:11 1988
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: test
To: aoi

This is mail test
Do you receive this mail?

Current message [Top]

A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 Re: question
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re: question
n 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du test

mail from message file /usr6/aoi/Messages [99%]

:smaill

新たに手紙を書くときには、
ESC X smailでsend mailを使う。(^Xm)

A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 Re: question
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re: question
n 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du test

mail from message file /usr6/aoi/Messages [99%]

Date: Thu, 31 Mar 88 31:22-EST
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: _
To:
Message-id: <5503900321/aoi@atr-1a>

Message composition [[64%]]

ここでもHeaderは自動生成される。

```
A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 Re: question
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re: question
n 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du test
```

mail from message file /usr6/aoi/Messages [99%]

Date: Thu, 31 Mar 88 31:22-EST
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: meeting
To: post
Message-id: <5503900321/aoi@atr-la>

Message composition [[Bottom]]

:insert-file data1

既に送るべきファイルがある場合は、`^x^i`とすると、ファイル名を聞いてくるので、ファイル名を入れる。また、自分に送られたメールを他の人にも知ってもらいたい場合などは、`rmail`コマンドを入力した状態でそのメールの位置(読んでいる最中なら、そのままの状態)で、`ESC-x` `smail`とし宛先などを書き終えてから、`^xi`(コントロールキーを押したまま `xi`と入力)すると、分に送られた記事を他人に送ることも可能である。

A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 Re: question
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re: question
n 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du test

mail from message file /usr6/aoi/Messages [99%]

Date: Thu, 31 Mar 88 31:22-EST
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: meeting
To: post
Message-id: <5503900321/aoi@atr-la>

We have to join a meeting about network.
Which is best? today or tomorrow?
Please return to mail me. thank you.

Message composition [[Bottom]]

Sending

書き終わったら、^Cで送信される、

^X^Aでabortしてくれるので、失敗.中止の際、便利である。

abortはY、Nで確認してくる。

```
A 04202205513000 thu, 04 Feb akiba@ma.nsis20 Re: ques
B 04202301111000 5 Feb 1988 =>akiba@ma.nsis Re: ques
A 04221646571000 Wed, 23 Mar dump(system du test
B 04221646571001 Thu, 31 Mar =>dump (system Re: test
```

Current message [Top]

Date: Thu, 31 Mar 88 31:22-EST
From: aoi(shuuichi aoi)
Subject: Re: test
To: dump(system dumper)
Message-id: <8803230516.AA14031@atr-la.atr.junet>
In-Reply-To: dump's message of Thu, 31 Mar 88 1311 09+0900

This is return mail, can you get it ?

Message composition [[top]]

送信したmailも B(送信)と => のMarkで示される。

手紙のプリントアウト

^X^Wでwrite-named-file?を聞いてくるので、たとえばtegamiとして、
shellでprint tegamiをすればprint outしてくれる。
このとき、^X^Wは手紙本文のある方に行うこと。

3.3 Nemacsでメールを扱う方法

【はじめに】

emacsからmailを扱う方法とNemacsからメールを扱う方法は、基本的には変わらない。ここでは、emacsからrmailを起動する場合とNemacsからrmailを起動する場合の相違点について述べる。Nemacsの基本的な使い方は、bit別冊のGNU emacsを参照してください。emacsからのrmailの使用とnemacsからの併用は避けて下さい。(メールをスプーリングする領域等が違うため)

【Nemacs 対 Mail】

tool	save file(s)	tmp file
Nemacs	RMAIL	なし
emacs	Messages/*	BlindBox

【emacsとのメールの扱い方の相違点】

1. emacsでは、全てのmailがfileに分割されMessagesというDirectoryの下に管理されているが、nemacsではホームディレクトリ下のRMAILというファイルに一括管理される。
2. Emacsの機能が使える。
これは、ほとんど同一機能である。
3. mailの編集機能がある。
mailファイルをメールの内容などにより、他のファイルにコピーして、ファイルの編集をRmailから行える。

[環境設定方法]

以下の記述で"Emacs"はGNU EmacsおよびNEmacsの両方を、"NEmacs"はNemacsを指します。

(1) .cshrc

◆ このファイルでは、シェルの環境変数EMACSLOADPATH、ESHELL、DISPLAYの設定を行います。

◆ EMACSLOADPATHはEmacsライブラリ(emacs-lispで書かれたファイル)が置いてあるディレクトリ名のリストを指定します。現在、オリジナルのEmacsライブラリは/usr/local/lib/gnuemacs/lispまたは/usr/local/lib/nemacs/lispに置いてあり、またローカルに用意したEmacsライブラリは/usr/local/lib/gnuemacslibに置いてあります。また、各ユーザが用意したEmacsライブラリは例えば~/emacslibあるいは~/GNUlibなどの名前のディレクトリに置いておきます。EMACSLOADPATHには通常、自分のライブラリ->ローカル・ライブラリ->オリジナル・ライブラリの順にディレクトリを指定しておきます。例えば、

```
setenv EMACSLOADPATH \
"$HOME/emacslib:/usr/local/lib/gnuemacslib:/usr/local/lib/nemacs/lisp:."
```

あるいは

```
setenv EMACSLOADPATH \
"$HOME/GNUlib:/usr/local/lib/gnuemacslib:/usr/local/lib/nemacs/lisp:."
```

となります。

◆ ESHELLはEmacs中でシェルを起動したときに走るプログラム名を指定します。ESHELLが設定されていないと通常使っているシェル(たぶんnewcshだと思いますが)が走りますが、newcshはEmacsの中では正しく動きません。そこで、ESHELLにはcshを設定しておきます。すなわち、

```
setenv ESHELL "/bin/csh"
```

となります。

◆ MicroVAXを持っている人はDISPLAYにその名前を設定しておいてください。X-window用のEmacsを動かしたときにDISPLAYで指定されたワークステーションにウィンドウが開きます。例えば、

```
setenv DISPLAY "atr99:0"
```

となります。

◆[注意]

```
.cshrcの中に  
if ($?prompt) then
```

```
endif
```

のifブロックがある場合、EMACSLOADPATH、ESHELLの設定はそのブロックの外に書いておいてください。

(2) .emacs

◆ .emacsはEmacsの初期化ファイルです。標準的な.emacsが/usr/local/lib/gnuemacslib/etc/においてありますので、次のようにあなたのホームディレクトリにコピーしてください。

```
% cp /usr/local/lib/gnuemacslib/etc/.emacs ~/
```

(3) .nemacs

◆ 上でコピーした.emacsの中には

```
;;;  
;;; If Nemacs is starting, load ~/.nemacs  
;;;  
(if (boundp 'kanji-flag)  
    (load-file "~/.nemacs"))
```

というラインがありますが、これによって、Nemacsが立ち上がるときだけ.nemacsが読み込まれます(GNU Emacsのときは読み込まれません)。.nemacsではNEmacsに対する初期化を行います。標準的な.nemacsが/usr/local/lib/gnuemacslib/etc/に置いてありますので、次のようにしてあなたのホーム・ディレクトリにコピーしてください。

```
% cp /usr/local/lib/gnuemacslib/etc/.nemacs ~/
```

(4) メールファイル

◆ Emacsでは自分が出したメールをファイル~/mboxに書き出しておくによって、自分が出したメールも他の人からのメールと同じように管理することができます。このためには.emacsの中で次のように変数mail-archive-file-nameに~/mboxを設定しておきます。

```
(setq mail-archive-file-name "~/mbox")
```

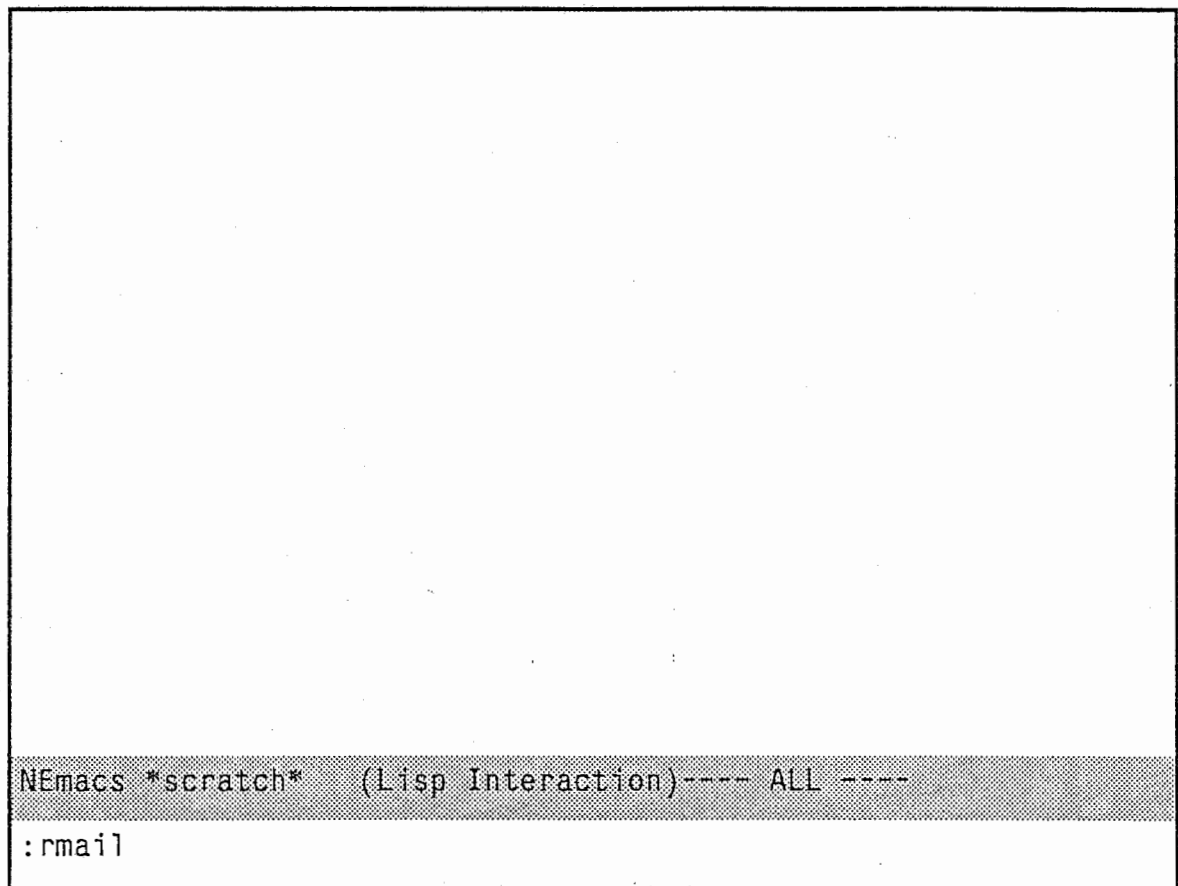
/usr/local/lib/gnuemacslib/etc/.emacs にはこの設定がしてあります。

◆ Emacsでは読んだメールをRmailファイルと呼ぶメールファイルに保存しておきます。Emacsでメールを読むとそのメールはまずプライマリ・メールファイルに追加されます。何も指定しなければプライマリ・メールファイルは~/RMAILになります。変数rmail-file-nameでプライマリ・メールファイルを指定することもできます。例えば、プライマリ・メールファイルを~/Rmail/RMAILとするためには、.emacsの中に

```
(setq rmail-file-name "~/Rmail/RMAIL")
```

と書いておきます。ディレクトリ ~/Rmailは自分で作ってください。

3.3.1 メールの読み方



<図-1>メールの読み方

まず、Nemacsを呼び出し
ESC-x rmailと入力します。(図-1)
(以下 M- エスケープキー
C- コントロールキーとする。)

[基本的な制御]

emacsからメールを読むときと基本的には、変わらない。
以下にrmailの基本的な制御を示す。

1.メールの選択

1つ前の記事に移る	p入力
1つ後の記事に移る	n入力
1番目の記事に移る	j入力
3番目の記事に移る	3j入力

2.メールの消去

現在読んでいるメールを 消去して前の記事に移る	C-d入力
現在読んでいるメールを 消去して後の記事に移る	d入力

3.メールのスクロール

順方向へスクロール	スペース	か	v	入力
逆方向へスクロール	DEL	か	C-v	入力

```
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
To: aoi
Subject: test
```

```
    This is mail test.
    Do you receive this mail?
```

```
NEmacs *scratch*    (Lisp Interaction)----- ALL -----
```

```
Add label: ラベル名    (a入力後)
```

1)ラベルによる分類

Nemacsでは、-RMAILというファイルにメールが一括管理されているので、
読んだ記事の検索がスムーズにいくようにラベルで管理する方法がある。

a 入力 --> ラベル名の入力 (上記参照)

各メールごとに内容などによりラベルを付け、再び読む時に内容ごとの検索
ができる。

C-M-n ラベル名 指定されたラベルがついたメールの順検索

C-M-p ラベル名 指定されたラベルがついたメールの逆検索

Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
To: aoi
Subject: test

This is mail test.
Do you receive this mail?

NEmacs *scratch* (Lisp Interaction)----- ALL -----

(oの入力)

2)ファイル編集による分類

基本的には、ラベルによる分類とそれほど変わらない。ただ、ラベルによって管理するか内容の種別によってファイルにおとして管理するかの違いである。

[手順1]

ファイルにsaveしたいメールをウインドウに出したまま、oの入力

Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
To: aoi
Subject: test

This is mail test.
Do you receive this mail?

NEmacs *scratch* (Lisp Interaction)----- ALL -----

Output message to Rmail file: ~/Rmail/ファイル名

[手順2]

どのファイルにsaveしますかと聞いてくるので、ファイル名を指定します。

既に指定したファイルが存在する場合は、インクリメントされます。

Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
To: aoi
Subject: test

This is mail test.
Do you receive this mail?

NEmacs *scratch* (Lisp Interaction)---- ALL ----

(i の入力)

[手順3]

次に、編集されたメールを読む場合には、iを入力

Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
To: aoi
Subject: test

This is mail test.
Do you receive this mail?

NEmacs *scratch* (Lisp Interaction)----- ALL -----

Run rmail on RMAIL file: ~Rmail/ファイル名

[手順4]

どのファイルのメールを読みますかと聞いてくるので、ファイル名を指定します。

そうすると、自分がファイルに分類したメールの種別により、より効率的に運用することができる。

3.3.3 メールを送り方

多少emacsからのsmailの使い方と異なりますが、基本的には同じです。

```
Date: Thu, 31 Mar 88 31:10:
From: aoi(shuuichi aoi)
To: aoi
Subject: test
```

```
This is mail test.
Do you receive this mail?
```

```
NEmacs *scratch* (Lisp Interaction)----- ALL -----
```

```
M-x m
```

M-x m を入力 (単にメールを出す)

M-x r を入力 リプライメール(送信者にメールの返送)

M-x f を入力 現在読んでいる記事を他の人に転送

To:
Subject:
---text follows this line ---

hello hello !!
what are you doing now?

NEmacs *scratch* (Lisp Interaction)----- ALL -----

C-c C-c

返事が書けたら、C-c C-cを 入力

漢字の取扱いについて

通常Nemacsでファイルの表示はJISコードで表示される。そのため、DECコード対応の端末で日本語の表示を行うには、コード変換をする必要がある。以下に、コード変換するためのコマンドについて説明する。

C-x C-k ?(? = t, f, i, or d)は漢字のさまざまなモードを変えるためのコマンドです。

C-x C-k t-->toggle-kanji-flag

漢字を扱うかどうかのフラグ(kanji-flag)をon/offさせます。

kanji-flagがonの時はモードラインに[FID=JSS]などという形で現在の漢字コードを示します。FIDというのはそれぞれ、

- F: File I/O
- I: Input from keyboard
- D: Display

をあらわし、それぞれに順に対応した漢字コードの種類を次に示します。

- J: JIS
- S: Shift-JIS
- E: EUC(Extended Unix Code)

C-x C-k f-->change-kanji-fileio-code

ファイルとの入出力時の漢字コード(kanji-fileio-code)をEUC(0->Shift-JIS(1)->JIS(2)->EUC(0)という順に変化させます。

C-x C-k i-->change-kanji-input-code

キーボードから入力される漢字コード(kanji-input-code)の解釈を上記と同じ様に変化させます。

C-x C-k d-->change-kanji-display-code

ディスプレイに表示する漢字コード(kanji-display-code)を上記のように変化させます。

以下の二つのキーは、オリジナルでは別のファンクションに割り当てられていました。

ESC-\$-->kanji-jis-start(original spell-word)

JISコード入力時に、2バイトコードの始まりを示す。

ESC-(-->kanji-jis-end (original insert-parentheses)

JISコード入力時に、2バイトコードの終りを示す。

オリジナルのファンクションに対しては以下のキーを割り当てました。

ESC-#-->spell word

ESC-{ -->insert-parentheses

byte-compileを行うときは、必ず漢字モードをオフにしてから行う。

4. ニュースの出し方

4.1 Pnewsの起動

%Pnews

- 1) 最初にニュースグループを聞いてくる。

Newsgroup(s): atr.itl (グループ名)

- 2) 次にディストリビューションを聞いてくるが、何も入れない。
デフォルトとしてatr内部になっている。

Your local distribution prefixes are:

Local organization:	atr
Organization:	atr
City:	osaka
State:	osaka
Country:	japan
Continent:	asia
Everywhere:	fj,net,mod,fa

Distribution(atr): リターンを入力

- 3) タイトルを入れる。

Title/Subject: test (タイトル名)

- 4) 禁じられているグループへの投函を防ぐために、以下のメッセージが出力される。(okならyを入力)

This program post news to machines throughout the organization
Are you absolutely sure that you want to do this? [ny]

- 5) すでにポストするためのファイルが存在する場合、ファイル名を入力

Input file name? [RETURN for new file]:ファイル名

- 6) 上の段階でファイルが存在しない場合、リターンを入力すると以下のメッセージが出力される。vi派ならリターン、emacs派ならemacsを入力。(それ以外のエディタはだめ)

Editor[/usr/ucb/vi]:

- 7) 自動的にヘッダー部分が形成さる。その下から送りたい内容を入力する。

Newsgroup: atr.test
Subject: test
Expire:
References:
Sender:
Reply-To: aoi@atr-la.atr.junet (shuuichi aoi)
Followup-To:
Distribution: atr
Organization: atr
Keyword:

this is postnews test.

do you receive my test news?

- 8) エディタから抜けると以下のメッセージが表示される。

Send,abort,edit,or list?

ニュースを送る	sを入力
アボートする	aを入力
ファイルに再エディットする	eを入力
ポストするファイルを見る	lを入力

*アボートした場合、ホームディレクトリの下にdead.artcleというファイルにヘッダ及び入力したものがsaveされる。

Article saved to /usr6/aoi/dead.article

[実行例]

Newsgroup(s): atr.test

Your local distribution prefixes are:

Local organization:	atr
Organization:	atr
City:	osaka
State:	osaka
Country:	japan
Continent:	asia
Everywhere:	fj,net,mod,fa

Distribution(atr):

Title/Subject: test

This program posts news to machines throughout the organization.

Are you absolutely sure that you want to do this? [ny] y

Input file name? [RETURN for new file]:リターン

Editor[/usr/ucb/vi]:リターン

```
1 Newsgroups: atr.test
2 Subject: test
3 Expires:
4 References:
5 Sender:
6 Reply-To: aoi@atr-la.atr.junet (shuuichi aoi)
7 Followup-To:
8 Distribution: atr
9 Organization: atr
10 Keywords:
11
12 spring has come.....
13
14 I am sleepy.
15
/tmp/article29718" 16 lines, 219 characters
Send, abort, edit, or list? 1
```

Newsgroups: atr.test
Subject: test
Expires:
References:
Sender:
Reply-To: aoi@atr-la.atr.junet (shuuichi aoi)
Followup-To:
Distribution: atr
Organization: atr
Keywords:

spring has come

I am sleepy.

Send, abort, edit, or list? e
Editor [/usr/ucb/vi]:
/tmp/article29718" 16 lines, 219 characters

1 Newsgroups: atr.test
2 Subject: test
3 Expires:
4 References:
5 Sender:
6 Reply-To: aoi@atr-la.atr.junet (shuuichi aoi)
7 Followup-To:
8 Distribution: atr
9 Organization: atr
10 Keywords:
11
12 spring has come
13
14 I am sleepy.
15 aoi@atr-la.atr.junet

/tmp/article29718" 16 lines, 219 characters

Send, abort, edit, or list? s

4.1.1 漢字に関する取扱い方について

今までの説明でニュースの送る方法がわかったと思いますが、ここで問題となるのは日本語のニュースを出すときの漢字の取扱い方です。ATR内ではDECコードを使用しているため、JUNETにおける標準の漢字コードのJISコードに変換しなければならない。自動的に変換されるツールを作っているため、それを使ってください。

1)PKnewsの起動

%PKnews

Editor[/usrlocal/bin/jemacs]: この部分だけPnewsと違う
jemacsかjviを起動

漢字入力用エディタでファイルを作成

4.1.2 注意点

はじめて記事を出すときはatr.test宛にポストして、ニュースがうまく送れているか確かめてから行いましょう。また、グループ名の指定間違いや漢字の取扱い方についても気をつけましょう。

4.1.3 その他

rn(ニュースを読むコマンド)で、読んでいる記事に対してフォローアップをしたい場合、rnの中からニュースをポストすることができる。rnについての詳しく知りたい場合は付録のrnユーザーズガイドを参照してください。

5. ニュースの読み方

5.1 readnews

readnewsを起動するには、ホームディレクトリ下に.newsrcというファイルが必要である。アカウントを貰った時に自動的に生成される。readnewsとこの後で説明するrnとを併用して使ってはいけない。

5.1.1 各種オプションの説明

-a 与えられた日付に送られてきたニュースを読む。

-t 指定されたタイトルだけ読む。

-n 指定されたニュースグループを読む。

-x .newsrcファイルを書き替えない。

5.1.2 使用例

%readnews -n atr.itl atr.itlというニュースグループを読む。

%readnews -t test testという記事について読む。

%readnews -xn fj.unix fj.unixというニュースグループを読む。
newsrcファイルを書き替えないため、次にreadnews
を起動して同じグループを読みにしても、前に読
んだ記事から再び読むことができる。

5.1.3 ページャーモードからのオプション説明

[例]%readnews -n atr.itl 以下のメッセージを出力

Newsgroup atr.itl

Article 613 of 685, Dec 28 11:01.

Subject: Bug fixed for the library, libana_c

From: akagi@atr-hr.UUCP (Masato Akagi @ ATR International, Japan)

Newsgroups: atr.hr,atr.itl

(21 lines) More? [ynq]

yを入力	この記事を読む。
n	この記事は読み飛ばす。
q	readnewsを終了させる。

*その他便利なコマンド

b	1つ前の記事にもどる。
680	アーティクルの680番目まで飛ばす。
h	ヘッダの表示
H	ヘッダのより詳しい表示
s[ファイル名]	今読んでいる記事をファイルにsaveする。
w[ファイル名]	上記と同様
N[グループ名]	違うニュースグループの指定を行う。
r	今読んでいる記事に関してフォローなどをポストする。ヘッダの自動生成を行う。
rd	記事を投函した人に直接メールを送る。
v	ニュースのバージョンを表示。
x	.newsrsrcファイルを更新しない。
![コマンド名]	readnews内よりコマンドを起動する。

[実行例]

```
%readnews -xn atr.itl
```

```
-----  
Newsgroup atr.itl  
-----
```

Article 676 of 801, Jan 17 18:24.

Subject: Notice of Regular Speech Talk

From: shikano@atr-la.atr.junet (kiyohiro shikano @ atr)

Newsgroups: atr.itl,atr.hr

(12 lines) More? [ynq] y

Date & Time: Jan. 20 (Wed) from 1:00pm to 3:00pm

Speaker & Title: M. Abe, " Evaluation of Voice Conversion
Algorithm by Vector Quantization and Mapping"S.
Tamura, " Noise Reduction by Connectionist

/shikano

Article 677 of 801, Jan 18 15:45.
Subject: LA's maintenance is advanced.
From: abe@atr-la.atr.junet (katsuo abe @ atr)
(16 lines) More? [ynq] N atr.singles

Newsgroup atr.singles

Article 44 of 49, Feb 18 19:44.
Subject: Food for the Hungry
From: maeda@atr-la.atr.junet(hiroyuki maeda)
(12 lines) More? [ynq] H

Article 44 of 49: <1483@atr-la.atr.junet>
Path: atr-la!maeda
From: maeda@atr-la.atr.junet (hiroyuki maeda)
Newsgroups: atr.singles
Subject: Food for the Hungry
Message-ID: <1483@atr-la.atr.junet>
Date: 18 Feb 88 10:44:11 GMT
Organization: ATR International, Japan
Lines: 12
Posting-Front-End: GNU Emacs 18.47.2 of Tue Feb 16 1988

(12 lines) More? [ynq] 49

Article 49 of 49, Mar 1 17:23.
Subject: Re: DAIHINMIN no seiseki hyou !
From: hatazaki@atr-la.atr.junet (Kaichiro Hatazaki)
(9 lines) More? [ynq] y
Article <1538@atr-la.atr.junet>takeda@atr-la.atr.junet (kazuya
takeda)

>>DAIHINMIN no tsuusan seiseki wo tsuketeimasu.
>> /usr/games/daihinmin [player's name]

I added this command on ATR-SP. Try it :-)

--
hatazaki

Newsgroup atr.itl

Article 676 of 801, Jan 17 18:24.
Subject: Notice of Regular Speech Talk
From: shikano@atr-la.atr.junet (kiyohiro shikano @ atr)
Newsgroups: atr.itl,atr.hr
(12 lines) More? [ynq] v
News version: B 2.11 12/29/86
(12 lines) More? [ynq] !pwd
Can't open kojiri dictionary.
/usr6/aoi/newusers

Article 676 of 801, Jan 17 18:24.
Subject: Notice of Regular Speech Talk
From: shikano@atr-la.atr.junet (kiyohiro shikano @ atr)
Newsgroups: atr.itl,atr.hr
(12 lines) More? [ynq] s test0
./test0: New file
(12 lines) More? [ynq] b

Article 676 of 801, Jan 17 18:24.
Subject: Notice of Regular Speech Talk
From: shikano@atr-la.atr.junet (kiyohiro shikano @ atr)
Newsgroups: atr.itl,atr.hr
(12 lines) More? [ynq] q

%

5.1.4 日本語の記事を読むときの留意点

JUNETで扱われている標準の漢字コードはJISコードである。このため、JISコード対応の端末(例えばpc98等)では問題ないのですが、DECコード対応の端末に関してはニュースを読むためにコード変換してやる必要がある。そのためのコマンドとして、rfilterが用意されている。

[例]%readnews -n fj.test | rfilter | more

5.2 rnの起動

```
% rn <RETURN>
Unread news in csk.unix          2 articles
Unread news in fj.rec.music      52 articles
Unread news in fj.rec.idol       41 articles
Unread news in fj.rec.movies     1 articles
Unread news in fj.rec.misc       4 articles
etc.
```

```
***** 2 unread articles in csk.unix--read now? [ynq]
```

5.2.1 用語について.他

下の状態をニュースグループ選択レベルといいます.主にニュースグループを移動します.

```
***** 2 unread articles in csk.unix--read now? [ynq]
```

下の状態を記事選択レベルといいます.主にそのグループ内の記事を選択します.
End of article 32 (of 34)--what next? [npq]

下の状態をページャーレベルといいます.その記事の途中です.
--MORE--(35%)

1. ニュースグループ選択レベルからy(またはスペースバー)を押すと、そのグループのまだ読んでいない最初の記事を表示して、画面内におさまれば記事選択レベルに、長い記事ならページャーレベルになります。
2. スペースバーは、[ynq]内の一番左のコマンドと同じ動作をします。
3. ここでは、articleを「記事」と呼びます。

5.2.2 グループを捜す.他(ニュースグループ選択レベルにて)

1. このグループのSubject一覧が見たい。
=
2. 読む記事がある次(前)のグループに行きたい。
n(p)

3. 読む記事がある、ないにかかわらずとにかく次(前)のグループに行きたい
N(P)
4. 読む記事があるgroという文字を含むニュースグループを捜したい。(これにより
fj.groupというグループが捜せる.)
/gro(次のグループ) or ?gro(前のグループ)
5. 読む記事はないかもしれないが、groという文字を含むニュースグループを捜したい.
/gro/r(次のグループ) or ?gro?r(前のグループ)
6. fj.groupというグループに行きたい.
g fj.group
7. このニュースグループは今後もう読みたくない
u
8. 今は読まないようにしてある fj.group だけど、もう一度読めるようにしたい.
g fj.group
9. さっきまで読んでいたグループに戻りたい.
-
10. どんなコマンドが使えたかな.
h
11. rnを終わりたい.
q

5.2.3 記事を読む(記事選択レベル、又はページャーレベルにて)

1. Subject一覧が見たい.
=
2. まだ読んでいない記事のうち、一つ次(前)の記事を読みたい.
n(p)
3. もう読んでしまった記事も含めて、一つ次(前)の記事を読みたい.
N(P)
4. 同じSubjectを持つ、次(前)の記事を読みたい.
^N(^P)
5. N番の記事を読みたい.
番号

6. Subjectにtitleという文字を含んだ記事を読みたい.
/title/(次の記事) or ?title?(前の記事)
7. nameさんからの記事を読みたい.
/name/h(次の記事) or ?name?h(前の記事)
8. 今読んでいる記事をあとでもう一度読みたい.
m or M
9. 記事を読んでいる途中だが、もう読み終わった事にしたい.
j
10. このニュースグループの記事は全部読んでしまった事にしたい.
c
11. まだ読んでいない記事があるけど、あとで読む事にして一旦抜けよう.
q
12. これは自分の記事で、おかしい所があるからキャンセルしよう.
C
13. どんなコマンドが使えるのかな.
h
14. この記事をもう一度最初から読みたい.
^R or v
15. この記事の1ページ前に戻りたい.
b or ^B

5.2.4 もう一度読みたい (記事選択レベル、ページャーレベルにて)

1. 今読んでいる記事をあとでもう一度読みたい.
m or M
2. ついさっき読んでいた記事を読みたい.
-
3. このニュースグループの記事をもう一度全部読みたい.
1-\$m
4. この記事から後の記事をもう一度全部読みたい.
-\$m
5. この記事から前の記事をもう一度全部読みたい.
1-.m

6. Subjectにtitleという文字を含んだ記事をもう一度読みたい.
/title/r (次の記事) or ?title?r (前の記事)

7. Subjectにtitleという文字を含んだ記事をもう一度全部読みたい.
/title/rm and ?title?rm

8. nameさんからの記事をもう一度読みたい.
/name/rh (次の記事) or ?name?rh (前の記事)

9.nameさんからの記事をもう一度全部読みたい.
/name/rhm and ?name?rhm

5.2.5 記事を保存する (記事選択レベル, ページャーレベルにて)

1.この記事をfileというファイルにセーブしたい.
file

2. この記事をdirというディレクトリーにセーブしたいんだけど、ないから
作ろう.
mkdir dir

3. この記事をdirディレクトリーのfileというファイルにセーブしよう.
s dir/file

4. fj.groupというグループの記事だから、fj.groupというファイルにセーブ
しよう.
s %C

5. fj.groupというグループの記事だから、fj/groupというディレクトリーの
fileというファイルにセーブしよう.
s %c/file

6. この記事をプリンターに出そう
|lpr -Pprinter

7. この記事はJISだから、EUCにしてからプリンターに出そう.
|nkf -e |lpr -Pprinter

5.2.6 日本語の記事を読むときの留意点

rnで日本語の記事を読みたい場合には、JISコードからDECコードに変換しないといけない。その方法を以下に示す。

1)この3つのファイルをホームディレクトリの下のbinにコピーする。cbreakモードの設定と、日本語の記事を読むためのフィルター設定を行う。

```
% cp ~post/Command/l HOME-DIRECTORY/bin/.
% cp ~post/Command/rflt HOME-DIRECTORY/bin/.
% cp ~post/Command/rn HOME-DIRECTORY/bin/.
```

2)いったんログアウトするか、以下のコマンドを入力する。

```
% source .cshrc
% source .login
```

3)rnの起動

```
% rn <RETURN>
```

```
Unread news in fj.rec.music      2 articles
Unread news in fj.rec.idol       41 articles
Unread news in fj.rec.movies     1 articles
Unread news in fj.rec.misc       4 articles
etc.
```

```
*****2 unread articles in fj.rec.music--read now? [ynq]
          リターンを入力
```

```
--MORE--(35%)   ページャーモードのこの時点で|1を入力
```

記事の表示を行う。

[実行例]

```
%rn
Unread news in atr.itl          1 articles
Unread news in fj.sources       50 articles
Unread news in news.software.b  2 articles
Unread news in soc.culture.japan 34 articles
Unread news in comp.mail.uucp   29 articles
etc.
```

```
***** 1 unread article in atr.itl--read now? [ynq]
***** 50 unread articles in fj.sources--read now? [ynq]
***** 2 unread articles in news.software.b--read now? [ynq]
***** 34 unread articles in soc.culture.japan--read now? [ynq]
***** 29 unread articles in comp.mail.uucp--read now? [ynq]
***** 6 unread articles in fj.rec.idol--read now? [ynq]
***** 5 unread articles in fj.sys.mac--read now? [ynq]
```

Article 257 (4 more) in fj.sys.mac:
From: makoto@shpcsl.sharp.junet (Makoto Nakamura)
Newsgroups: fj.sys.mac,fj.wanted

Subject: MAC keybord wanted (In Japanese)
Message-ID: <1260@shpcsl.sharp.junet>
Date: 7 Apr 88 07:10:40 GMT
Distribution: fj
Organization: Sharp Csl, Tenri, Japan
Lines: 12

End of article 257 (of 261)--what next? [npq] |1
Path: atr-la!kddlab!ccut!titcca!nttlab!ouicsu!shpnar!shpcsl!makoto
From: makoto@shpcsl.sharp.junet (Makoto Nakamura)
Newsgroups: fj.sys.mac,fj.wanted
Subject: MAC keybord wanted (In Japanese)
Message-ID: <1260@shpcsl.sharp.junet>
Date: 7 Apr 88 07:10:40 GMT
Distribution: fj
Organization: Sharp Csl, Tenri, Japan
Lines: 12
Xref: atr-la fj.sys.mac:257 fj.wanted:476

どなたか、MAC(128,512,Plus)の
キーボードを余分にお持ちで(例えば
カナ対応キーボードを購入して余って
しまったとか)譲って戴ける方おられ
ましたら御一報戴けましたら幸いです。

〒632 奈良県天理市櫛本町2613番地の1
シャープ(株)技術本部
コンピュータシステム研究所
第一研究室
中村 真

tel:(07436)5-1321 内線3410

End of article 257 (of 261)--what next? [npq]

***** 25 unread articles in comp.mail.sendmail--read now? [ynq]

/fj.rec

Searching...

[0 unread in fj.rec--skipping]

[0 unread in fj.rec.food--skipping]

[0 unread in fj.rec.games--skipping]

[0 unread in fj.rec.travel--skipping]

[0 unread in fj.rec.games.scores--skipping]

[0 unread in fj.rec.movies--skipping]

[0 unread in fj.rec.music--skipping]

[0 unread in fj.rec.tv--skipping]

***** 6 unread articles in fj.rec.idol--read now? [ynq]

***** 4 unread articles in fj.sys.mac--read now? [ynq]

Article 258 (3 more) in fj.sys.mac:

From: hamada@mecvax.meiosk.junet (Yasuhiko Hamada)

Subject: Re: Distribution list

Message-ID: <299@mecvax.meiosk.junet>

Date: 6 Apr 88 03:46:06 GMT

References: <3628@ayumi.stars.flab.fujitsu.JUNET>

Reply-To: hamada@mecvax.meiosk.JUNET (Yasuhiko Hamada)

Distribution: fj

Organization: Matsushita Electronics Corp(KYOTO).., Japan

Lines: 13

End of article 258 (of 261)--what next? [npq] |1
Path: atr-1a!kddlab!titcca!nttlab!ouicsu!iegva1!mecvax!hamada
From: hamada@mecvax.meiosk.junet (Yasuhiko Hamada)
Newsgroups: fj.sys.mac
Subject: Re: Distribution list
Message-ID: <299@mecvax.meiosk.junet>
Date: 6 Apr 88 03:46:06 GMT
References: <3628@ayumi.stars.flab.fujitsu.JUNET>
Reply-To: hamada@mecvax.meiosk.JUNET (Yasuhiko Hamada)
Distribution: fj
Organization: Matsushita Electronics Corp(KYOTO)., Japan
Lines: 13

In article <3628@ayumi.flab.fujitsu.JUNET> kiss@hanako.flab.fujitsu.JUNET (Mitsuhiro Kishimoto) writes:

>
> hamada@mecvax.meiosk.junet
> どのテープが欲しいのでしょうか?
>

何かと忙しかったもので、ポスト出来ませんでした すいませんテープの件ですが、
シャープの生駒さん -> 松下電器の岡村さん経由で4/5(火)に、6250bpiで受け取りま
した。

次は誰に回したらいいのかな?
希望の方は連絡下さい。

hamada@mecvax.meiosk.junet

End of article 258 (of 261)--what next? [npq] s test0

File /usr6/aoi/News/test0 doesn't exist--
use mailbox format? [ynq]

Saved to mailbox /usr6/aoi/News/test0

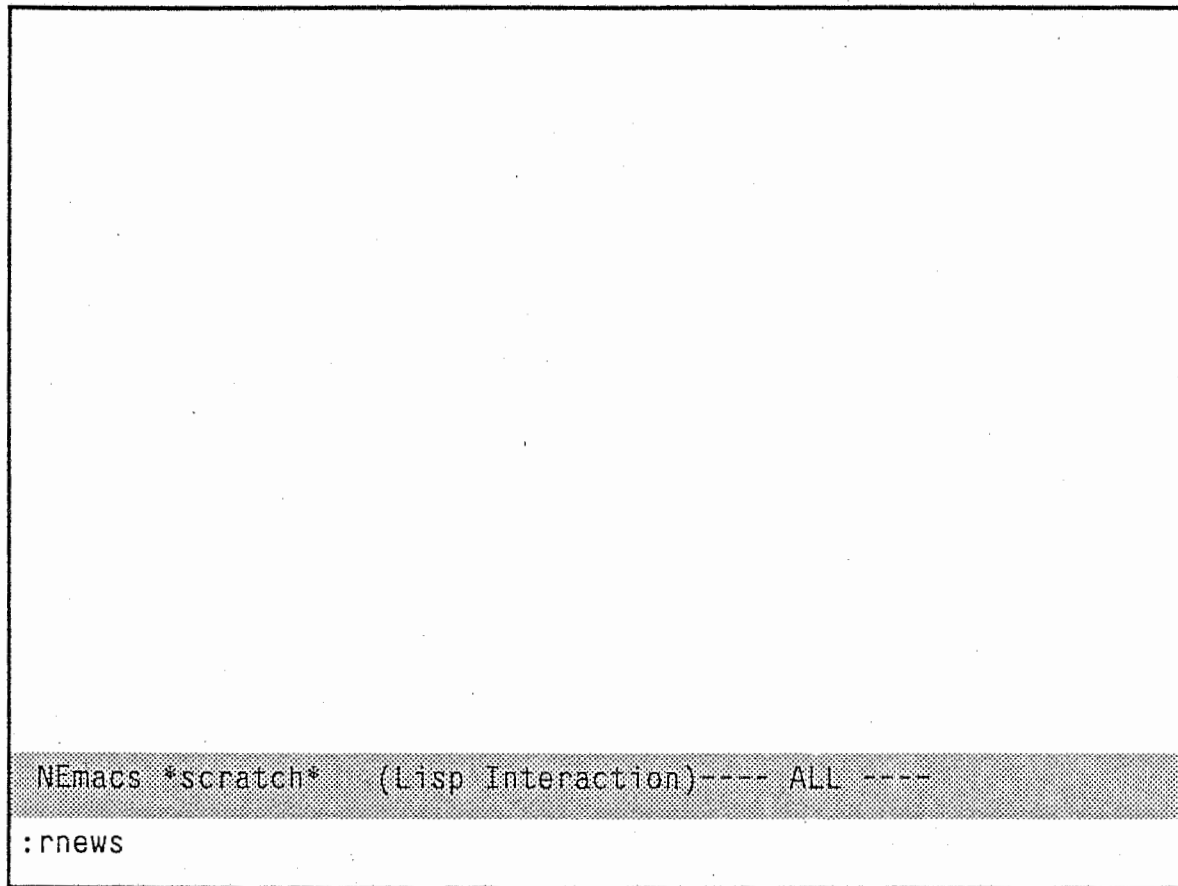
End of article 258 (of 261)--what next? [npq]

***** 25 unread articles in comp.mail.sendmail--read now? [ynq]

5.3 Nemacsからの rnews

【はじめに】

Nemacsの中でニュースを購読するためにrnewsが用意されています。ニュースを読む方法として、rn及びreadnewsの使い方について説明してきましたが、この中で機能面ではrn、ユーザ・インタフェースではNemacs内のrnewsが優れています。以下に、rnewsの基本的な使い方について説明します。



<図-1>メールの読み方

まず、Nemacsを呼び出し

ESC-x rnewsと入力します。(図-1)

(以下 M- エスケープキー

C- コントロールキー-とする。)

From: kddlal!titcca!nttlal!hirosl!heart!watanabe
Article 1061 of fj.junet:
Path: atr-la!lddlal!titcca!nttlal!hirosl!heart!watanabe
>From: watanabe@heart.riec.tohoku,junet(watanabe)
Newsgroups: fj.junet
Subject: It seems virus has come.
Message-ID: <88Nov24781234@heart.riec.tohoku.junet>
Date: Thu, 30 Nov 88 31:10:
Sender: watanabe@heart.riec.tohoku,junet
Distributions: fj
Organization: Research Institute of TOHOKU univ
Lines: 21

Internet virus/worm(彼を何と呼べばいいのでしょうか?)
もしくは類似のものが22日から23日にかけてtohoku.junet
doimainに來た(あるいは内部で発生した)形跡があります。

NEmacs NEWS: fj.junet (NEWS 1059/1062) - ALL-

M-x rnewsを入力すると、自動的に.newsrcに設定されているニュース・グループから未読記事を表示してくれます。この時に、日本語の記事が読めない場合には、C-x C-kd を入力すると、画面表示の漢字コードが変換できて読めるようになります。この状態からユーザは簡単なコマンドを入力するだけで、次のニュース・グループに移動したり、フォローアップ・メールを送ったりできます。次のページにコマンド一覧を載せました。これはrnewsを入力後、C-h m で表示されるようになっています。(実際は英語で表示されます。)

コマンド一覧

Space	スクロール・アップ
Delete	スクロール・ダウン
n	次の記事に移る。
p	前の記事に移る。
M-j	ニュース・グループのサーチ
n	次のニュース・グループに移る。
p	前のニュース・グループに移る。
l	ニュース・グループの表示
?	コマンド一覧の表示(C-h mと同じ)
f	フォローアップ・ニュースを出す。
A	購読するニュース・グループを追加する。
o	読んでいるニュースをセーブする。(ファイル名の指定可)
C-o	メール形式でファイルをセーブ
t	タイトル部分の表示
m	単純にメールを出す。
x	現在読んでいるニュースのアーティクルNo.を表示
r	リプライ・メールを出す。
u	現在読んでいるニュース・グループをもう購読しない。
U	uと同じ(購読中止するグループの指定可)
q,e	rnewsを終了する。

From: kddlab!titcca!nttlab!hirose!heart!watanabe
Article 1061 of fj.junet:
Path: atr-la!lddlal!titcca!nttlab!hirose!heart!watanabe
>From: watanabe@heart.riec.tohoku,junet(watanabe)
Newsgroups: fj.junet
Subject: It seems virus has come.
Message-ID: <88Nov24781234@heart.riec.tohoku.junet>
Date: Thu, 30 Nov 88 31:10:
Sender: watanabe@heart.riec.tohoku,junet
Distributions: fj
Organization: Research Institute of TOHOKU univ
Lines: 21

Internet virus/worm(彼を何と呼べばいいのでしょうか?)
もしくは類似のものが22日から23日にかけてtohoku.junet
doimainに來た(あるいは内部で発生した)形跡があります。

NEmacs NEWS: fj.junet (NEWS 1059/1062) - ALL-

Do you really wanna quit reading news ? (y or n)

ニュースを読み終えた場合、qかeを入力します。すると、上記のようなメッセージが出てきますので、yを入力します。そうすると、どこまで記事を読んだのかを記録してくれますので、この次にニュースを読む場合は、今まで購読した記事は無視されます。

参考文献

1. プロフェッショナルUNIX 村井 純・井上尚司・砂原秀樹・共著(アスキー出版)
2. コンピュータ・ネットワーク bit臨時増刊 石田晴久・徳田雄洋・徳田英幸 編(共立出版)
3. Gnu Emacs マニュアル bit別冊 Richard Stallman(共立出版)
4. JUNETの手引 JUNETの手引作成委員会編

付録 A

readnews ユーザーズ マニュアル

NAME

```
readnews[-adate][-nnewsgroups][-ttitle][
-leprxhfuM][-c[mailer]]
```

```
readnews-s
```

```
readnews-K
```

DESCRIPTION

引数なしのreadnewsはまだ読まれていない記事を出力する。デフォルト以外に利用できるいくつかのインターフェイスが存在する。

Flag	Interface
------	-----------

-M	mailx(1)またはMail(1)へのインターフェイス
----	------------------------------

-c	binmai(1)-インターフェイスのようなもの。
----	---------------------------

-c"mailer"	選択された記事がすべてテンポラリファイルに書き込まれる。それからメールプログラムが起動される。テンポラリファイルの名前は%を参照される。したがって,"mail-f%"と指定すると、選択されたすべての記事が入ったテンポラリファイル上でmailが起動される。
------------	---

-p	すべての選択された記事が標準出力に送られる。問い合わせは行われない。
----	------------------------------------

-l	タイトルのみの出力..newsrcファイルは更新されない。
----	-------------------------------

-e	lと似ているが,.newsrcファイルは更新される。
----	----------------------------

-r	フラグは記事を逆の順序で(新しい記事から)出力させる。-fフラグはフォローアップ記事の出力を行わない。-hフラグは記事を簡略化した形式で出力する。これは300baudの端末のためのものである。-uフラグは.newsrcファイルを5分ごとに更新する。これは、システムの信頼性が低い場合に使用する。(もし、.newsrcが更新されても,xコマンドはそれをオリジナルの内容に反映しないことに注意すること。)
----	--

以下のフラグは記事の選択を決定する。

-n newsgroups	newsgroupsに属する記事をすべて選択する。
---------------	---------------------------

-t titles titles	で指定された文字列を含むタイトルをもつ記事を選択する。
------------------	-----------------------------

-a[date]

与えられた日付(getdate(3)形式で)以降にポストされた記事を選択する。

-x

.newsrsrc ファイルを無視する。それはすでに読まれた記事も新しい記事とみなして選択する。

readnews は各ユーザのホームディレクトリ内の .newsrsrc ファイルを正しい内容に維持しており、それは既に読まれた記事を示している。このファイルの更新は各リーディングセッションの終了時、-x または -l オプションが指定されていないときに行われる。もし環境変数 NEWSRC があると、それは .newsrsrc の代りに使用されるファイルのパス名と見なされる。

.newsrc ファイルの中にオプション行をおくことができる。この行は options で始まりそのあとにコマンド行にタイプされるのと同じ形式で標準のオプションのリストが続いている。このリストには次のようなものが含まれている。ニュースグループ名のリストを伴った -n フラグ; 使用したいインターフェイス; and/or -r または -t フラグ。継続行は行の先頭がスペースまたはタブ文字で始まっている。同様に、オプションは環境変数 NEWSOPTS に設定することができる。それぞれの場所でのオプションの指定に矛盾が生じた場合は、コマンド行のオプションが優先され、.newsrsrc ファイルの options 行、NEWSOPTS の順に有効になる。

-s フラグによりニュースグループのサブスクリプションリスト(予約リスト)を出力することができる。

もし、あなたがしばらくの間ニュースを読んでいなかったとき(あるいはいままで一度もニュースを読んだことがない場合)は readnews-K の実行により、あなたが予約しているニュースグループの記事をすべて殺す(読んだことにすることができる)。

ユーザがデフォルトまたは binmail(1) インターフェイスで reply コマンドを使用するとき、環境変数 MAILER がどのメールプログラムを使用するのかを決定するために使用される。デフォルトは mail(1) である。

ユーザが各自のページングプログラムを指定したいときは、環境変数 PAGER にページングプログラム名を設定しておく。記事の名前は -c オプションと同様に % を参照して得られる。もし % があたえられていなければ、記事はそのプログラムにパイプされる。PAGER にヌル値を設定するとページングは行われない。

デフォルトは cat(1) である。

COMMANDS

ここでは、デフォルトまたは binmail インターフェイスのプロンプトに対して指定できるコマンドの一覧を示す。デフォルトのインターフェイスはカッコにかこまれたいくつかの一般的なコマンドを提案する。(選択のために表示する)改行のみを行った場合はその最初のコマンドを指定したものとみなされる。たとえば: [ynq] はコマンド y(yes), n(no) および q(quit) がそこで一般的な応答であることを意味し、この場合 y がデフォルトである。

Command	Meaning
---------	---------

-	前の記事に戻る。これはトグルであり、2回タイプするともとの記事に戻る。
---	-------------------------------------

できる。

ニュースグループの名前とサイズを知らせる。

! シェルエスケープ

<messageID>

特定の記事をさがす。(messageIDについての説明はStandardforInterchangeofUsenetMessageを参照のこと)

b Back.記事をバックアップする。

c 記事をキャンセルする。作成者かスーパーユーザのみが使用できる。

d ダイジェストを読む。記事をいくつかのダイジェストにし、それぞれに対して読んだり返答したりすることができる。

D Decrypt(暗号解読)。記事の本体においてcaesarデコード・プログラムを呼び出す。これはrec.humorに投稿されたroatedjokes(暗号化されたjokes)を解読するためのものである。このようなジョークは通常下品であるかあるいは他のグループの人間を攻撃したものであるので、攻撃の対象となっている人間による偶然の解読を避けるために暗号化されている。ジョークのタイトルは、それによって他人が解読すべきかどうかを判断できるように扱っている問題の本質を表示すべきである。

明白な数のローテーション(暗号化)(通常13)は特定のシフトをさせられる。

e Erase.読んだ記事を未読状態のままにする。

f[title]

フォローアップ記事を送信する。通常はタイトルはシステムによってされるので、付ける必要はない。指定後、フォローアップの文章を作成するためにエディタに入る。

fd 編集されたヘッダなしに、直接フォローアップを行う。これはfに似ているが、エディタのバッファ内には記事のヘッダが含まれていない。

h ヘッダ。さらに詳しいヘッダを出力する。

H 非常に多くのヘッダ-その記事についての知られているすべての情報を出力する。

K Kill.現在のニュースグループ内に残っている記事をすべて読まれたものとして、次のニュースグループに移る。

n No.現在のニュースグループの記事の出力を行わず、次のニュースグループに移る。binmailインターフェイスでは、このオプションは次の記事に移ることを意味する、これはyまたは改行のみを行った場合と同じである。

N[newsgroup]

次のニュースグループへ移動。次のニュースグループまたは指定されたニュース

グループへ移る.

p Print.前の記事を再出力する.

P PreviousNewsgroup.1つ前のニュースグループに移る.

q Quit..newsrsrcファイルは-xまたは-lが指定されているとき以外は更新される.

r Reply.mailにより記事の投稿者に返答を送る.あなたは返答する記事からとられたTo,Subject,Referenceのヘッダ行とともにエディタ(デフォルトvi(1))の中にはいる.適当にこれらのヘッダを変えたり追加したりすることができる.ヘッダの後に空白行を一行空け,返答の本文を追加し,エディタを終了させる.返答は返答する記事の作成者にメールで届けられる.

rd Replydirectly.記事の作成者に返答するためにメールプログラム(デフォルトはmail)に入る.返答の文を書き,control-Dを押す.

s[file]

Save.記事は指定されたファイルに追加書きされる.デフォルトはArticleである.ファイル名の最初の文字が|であると,それ以降はプログラム名とみなされ,記事のテキストを標準入力として実行される.最初の文字が/の場合はファイルのフルパス指定とみなされる.もし,環境変数NEWSBOXにフルパス名が設定されており,このファイルに/が含まれていないと,このファイルはNEWSBOXにセーブされる.あるいはHOMEに関係して格納される

U 現在のニュースグループを予約解除する.次のニュースグループに移る.

v ニュースシステムの現在の版数を出力する.

w sと同じ.

x Exit.qと似ているが.newsrsrcは更新されない.

Xsystem

記事を指定されたシステムに転送する.

y Yes.現在の記事を出力し,次の記事に移る.

number

その記事番号の記事に移る.

+ [n]

n個の記事をスキップする.スキップされた記事は"unread"として記録され,次の時も読まれる対象となる.

コマンドc,f,r,rd,e,h,Hおよびsは-を後ろにつけることにより,ひとつ前の記事に対して処理を行うことができる.したがって,デフォルトのインターフェースを使って,記事に返答を行う時は,r-(またはre-)とタイプすべきである.なぜなら,コマンドを入力するとき,その

コマンドはすでに次の記事に対するものとされるからである。

EXAMPLE

`readnews` デフォルトのインターフェイスで未読の記事をすべて読む。

`readnews-c"ed%" -l`

未読の記事のタイトルがすべて含まれているファイル上で、テキストエディタ `ed(1)` を起動する..`newsrsrc` はセッション終了時に更新されない。

`readnews-nall!talk-M-r`

`talk.` で始まるニュースグループ以外の未読の記事をすべて読む。

`mailx` のインターフェイスを用いて新しい記事から読まれる..`newsrsrc` ファイルはセッションの終了時に更新される。

`readnews-p-nall-alastthursday`

先週の木曜日以降にポストされた記事をすべて出力する..`newsrsrc` はセッションの終了時更新されない。

`readnews-K`

すべての未読の記事を破棄する。これは長い旅行から帰ってきたあとなどに役立つ。

ENVIRONMENT VARIABLES

EDITOR

`f` コマンドによって起動されるエディタ。(デフォルトは `/usr/ucb/vi`)

MAILER

`r` コマンドによって起動されるメールプログラム。(デフォルトは `/bin/mail`)

NAME あなたがポストした記事のヘッダで使用されるあなたのフルネーム。(デフォルトは `/etc/passwd` のあなたの ID のコマンドフィールド)

NEWSBOX

`s` コマンドによりセーブされる記事の格納先のファイルまたはディレクトリ (デフォルトは `HOME` と同じである。)

NEWSOPTS

`readnews` のオプション

ORGANIZATION

あなたによりポストされた記事のヘッダで使用するこのサイトのフルネーム

PAGER

16行以上の記事を読むときに呼び出されるページングプログラム。(デフォルトは `/usr/ucb/more`)

SHELL

`!` コマンドによって起動されるシェル。(デフォルトは `/bin/sh`)

FILES

/usr/spool/news/newsgroup/number	ニュース記事
/usr/lib/news/active	アクティブなニュースグループおよび記事の数.
/usr/lib/news/help	デフォルトのインターフェイスのためのヘルプ
~/newsrsrc	オプションおよび既に読まれた記事の一覧.

SEEALSO

binmail(1),checknews(1),inews(8),mail(1),mailx(1),news(5),newsrsrc(5),postnews(1),
vnews(1),getdate(3),news(5),newsrsrc(5),expire(8),recnews(8),sendnews(8),uurec(8)
HowtoReadtheNetworkNewsbyMarkHorton.
StandardforInterchangeofUsenetMessagebyMarkHorton.

AUTHORS

MattGlickman
MarkHorton
StephenDaniel
TomR.Truscott

付録 B

rn ユーザーズ マニュアル

NAME

rn-新しいreadnewsプログラム

SYNOPSIS

rn[オプション][ニュースグループ]

DESCRIPTION

Rnは、特にマンマシンインターフェースを、出来るだけ効率よくするように書かれた、readnews(1)に代わるプログラムである。Rnは、ニュースを読む為に必要な『無駄』時間を最小にするよう考えられている。--大抵の事は、ユーザーがニュースを読んでいる間か、読もうかどうか考えている間に処理される。そして、有用な情報を出来る限りスクリーンに表示しようとする。それらは、タイトルや現在読んでいる行の表示などであり、目につきやすくするため、反転やアンダーラインなどで示される。Rnが本当に速いかどうかはともかく、それは速く見えるのである。

引き数としてニュースグループが指定されないと、まだ読んでいないニュースがある総てのニュースグループを表示し、ユーザーに.newsrcファイルに書かれているニュースグループの順に、そのニュースグループのニュースを読むかどうかを聞いてくる。ニュースグループリストが引き数に指定されると、rnは"追加"モードで起動される。このモードは、新しいニュースグループを追加したり、ニュースグループを表示するのを制限する為に用いられる。これについては、ニュースグループ選択レベルでの'a'コマンドの項を参照の事。

Rnの操作は、3つのレベルに分けられている。:ニュースグループ選択レベル、記事選択レベル、そしてページャーレベルである。それぞれのレベルには、それぞれのコマンドとヘルプ機能がある。ページャーレベル(最下位レベル)において、rnはmore(1)のような動作をする。記事選択レベルでは、次に読みたい記事を指定する事ができ、また既定の順序で読む事もできる。それは、総ての記事を到着した順に読むか、同じタイトルの記事だけ選択して読むかのどちらかである。ニュースグループ選択レベル(最上位レベル)では、次に読みたいニュースグループを指定する事ができ、また既定の順序で読む事もできる。その順序は、.newsrcファイルに登録されている順序である。(.newsrcファイルに登録されているニュースグループの順序は、読みたい順に並べ変える事が出来る。これは、ニュースグループ選択レベルで'm'コマンドを使って行う。注意!!:どんな方法にしる(ログインシーケンス中のニュースチェッカーを含む)、readnews又はvnews(古いニュース購読プログラム)を起動すると、.newsrcファイルが再構成されてしまう。すなわち、rnを使用し始めたら、readnews/vnewsは使用してはならない。)

総てのレベルの総てのプロンプトに対し、'h'キーを打つと、その時点で使える全コマンドのリストを示してくれる。これは多分、全コマンド中の最重要コマンドであろう。決して忘れてはならない。総ての問いに対し、スペースを打つ事は、通常動作をさせる事を意味する。なぜならば、総てのプロンプトは、[]に囲まれた主な使用可能コマンドを示し、その一番左のコマンドが、スペースが打たれた時に実行されるからである。(入力は総てcbreakモードで実行される。そのためRETURNキーは、複数文字の入力を必要とするコマンド以外で

は必要ない。それらのコマンドはこの後の説明で分かるであろう。)

JUNET用のパッチが当てられているJUNET版rnでは、(ページャーレベルでの)記事の表示と、フォローアップ記事のポスト、リプライメールの送付、元記事の引用、記事のファイルへのセーブ時に、ネットワーク漢字コード(JISコード)とホストマシン漢字コード間のコード変換が行われる。そのため、あなたはほとんど漢字コードを意識しないでrnを使用する事ができる。ただし、記事をパイプに渡してシェルコマンドを実行する時は、漢字コード変換をしないので、記事はネットワーク漢字コード(JISコード)のままコマンドに渡される。この漢字コード自動変換の機能が使えるかどうかは、ニュース管理者がrnをインストールした時の状況による。

起動時にrnは、いくつかの作業を行う。

1. あなたの.newsrcを捜す。それは、あなたが購読中のニュースグループのリストである。もしrnが.newsrcを見付けられなければ、rnは新しくそれを作成する。もし見付ければ、rnは".oldnewsrsrc"というファイルにバックアップを作る。
2. あなたの.newsrcファイルを読み、未読ニュースのあるニュースグループを、頭から数行分リストアップする。
3. あなたの.newsrcファイルに対し、規定のチェックを行う。もしあなたの.newsrcファイルが、何らかの理由で古い物になっていたら、rnは警告を発し、アップデートをしてくれる。ただし、起動するのに少し時間がかかる。
4. Rnは次に、新しいニュースグループが出来ていないか調べ、あればそれらをあなたの.newsrcファイルに追加するかどうかを聞いてくる。
5. Rnは、最上位レベル--ニュースグループ選択レベルへ移行する。

ニュースグループ選択レベル

この節では、"次"と"前"という言葉は、あなたの.newsrcファイル中のニュースグループの並び順に依存する。ニュースグループ選択レベルでは、プロンプトは次のようであり：

```
*****17unreadarticlesinnet.blurfl--readnow?[ynq]
```

このレベルでは以下のコマンドが使える。

y,SP このニュースグループの記事を今読む。

.コマンド

このニュースグループの記事を今読む。ただし、記事を表示する前に、コマンドを実行する。どのようなコマンドが使えるかは、記事選択レベルで説明する。

= このニュースグループの記事を今読む。ただし、記事を表示する前に、タイトルのリストを示す。

n 未読ニュースがある次のニュースグループに行く。

- N 次のニュースグループに行く。
- p 未読ニュースがある前のニュースグループに行く。もしなければ、現在のニュースグループに留まる。
- P 前のニュースグループに行く。
- 直前に表示されたニュースグループに戻る。(それが、現在のニュースグループより前であるか後であるかは気にしないでよい)
- 1 最初のニュースグループへ行く。
- ^ 未読ニュースがあるうちの最初のニュースグループへ行く。
- \$ ニュースグループリストの最後にある物へ行く。
- g ニュースグループ
指定したニュースグループへ行く。その購読が中断されていれば、購読を復活するかどうか聞かれる。

/パターン

パターンに一致するニュースグループを前方に探す。パターンには、ファイル名展開の規則が使える。則ち、?は任意の一文字に相当し、*は任意の文字列に相当し、さらに[]の中に示された文字は一致すべき文字リストを表す。("all"は"*"と同義に使われる。)ファイル名展開と違う所は、そのパターンから始まる、もしくはそのパターンで終わるという物でなくてもよい、という点である。すなわち、"/jok"という探し方でも、net.jokesというニュースグループが見付かる。そのため、^と\$を語頭と語末の意味に用いる。:"/^test\$"で搜すと、testというニュースグループだけが見付かる。対象とするニュースグループに、未読記事がないニュースグループも含めたい場合は、後ろに/rを付け加える。パターンに一致するニュースグループが、現在の位置から最後までの中に無い場合は、ニュースグループリストの最初に戻ってサーチを続ける。

?パターン

/と同じであるが、後方に探す。

- u ニュースグループリストに購読中断のマークを付ける。

l 文字列

指定した文字列を含む、購読していない、または中断中のニュースグループをリストアップする。

- L 現在の.newsrcの状態をリストとして示す。

状態	意味
<数字>	このニュースグループの未読記事の数。
READ	総ての記事を読み終わっている。
UNSUB	購読中断中のニュースグループ。

BOGUS 不正ニュースグループ.
 JUNK .newsrc中の不良な行.
 (例えばreadnewsの"オプション"行)

(不正ニュースグループは、購読中のニュースグループのリストに存在しない物を指す。なお、あなたのサイトが現在購読中のニュースグループのリストは、activeというファイルに書かれており、たいていの場合/usr/lib/newsというディレクトリーに置いてある。)

m 名前 指定されたニュースグループを.newsrcファイル中の任意の位置に移動する。ニュースグループが指定されなかった場合、現在のニュースグループが対象となる。ニュースグループを移動する位置の指定方法は、数多く用意されている。--どこへ移動するか聞かれた時に、hを打つとその方法が確認できる。

c 遅れを取り戻す。:-)--このニュースグループの未読記事総てを読んだことにしてしまう。

o パターン

パターンに一致するニュースグループだけを、表示するように設定する。パターンは、'o'コマンドと同じである。空白で区切る事で、複数のパターンを指定する事ができる。この制限は、制限されたニュースグループ中の未読記事が無くなるまでか、新しい'o'コマンドが使われるまで有効となる。パターンが指定されなかった場合、'o'コマンドは以前に設定した制限を解除する。

a パターン

パターンに一致する新しいニュースグループを追加登録する。newsrcファイル中にすでに登録してあるニュースグループは、購読中断している、いないに関わらず、表示しない。新しいニュースグループが見付かれれば、どの位置に追加するかを聞いてくる。新しいニュースグループが総て登録されてしまっている場合は、'a'コマンドは、'o'コマンドと同じように、表示するニュースグループを制限する働きをする。

& コマンド行スイッチとニュースグループ制限の現在の状態を表示する。

& スイッチ{スイッチ}

コマンド行スイッチを設定する。

&& 現在のマクロの状態を表示する。

&&キー コマンド

新しいマクロを定義する。

!コマンド

子シェルへ移る。エクスクラメーションが1つ(!)なら、自分のニュース用のディレクトリーでシェルコマンドが実行され、エクスクラメーションが2つ(!!)なら、ニュースのスパールディレクトリーでシェルコマンドが実行される。スパールディレクトリーは、たいてい/usr/spool/newsである。環境変数SHELLが定義されていればそれが使われる。コマンドが指定されなければ、会話型シェルが起動される。

q 終了

x 終了するが、.newsrsrcの内容は、rnが起動された時のまま残る。'q'コマンドで終了する場合に書き換えられるのと同じ.newsrsrcファイルは、.newnewsrsrcというファイルになる。

^K グローバルKILLファイルを編集する。このファイルには、ニュースグループ選択レベルから各ニュースグループに入った時に、各記事に対して行う/パターン/jコマンド(一行にひとつ)を記述する。KILLファイルの目的は、何らかのパターンを基準として、それらの記事を読んでしまった事にする事である。これにより、むだな'n'キー操作をしなくてすむようになる。これとは別に、各ニュースグループごとのローカルKILLファイルもある。既読マークを付ける記事がないかどうかを捜すのは時間がかかるので、できるならローカルKILLファイルを使う方がよい。ローカルKILLファイルは、記事選択レベルで^Kにより編集できる。ローカルKILLファイルに検索コマンドを自動的に追加する方法もある--記事選択レベルの'K'コマンドとK検索修正子を参照の事

KILLファイルの編集には、環境変数VISUALかEDITORが設定されていれば、そのエディターが起動される。そうでなければ、デフォルトのエディター(通常vi(1))が起動される。

記事選択レベル

記事選択レベルでは、rnは(規定値で)数字の順に記事を選択していく(数字は、その記事があなたのサイトに到着した順である)。タイトル検索モード(^N)を使うと、規定の順序は同じタイトルを持った記事の中での数字の順に変更される。数字順モードとタイトル検索モードは、自由に切り換える事ができる。Sスイッチを設定しておく、タイトル検索モードを規定値にすることができる。

記事選択レベルにおいては、記事の内容を表示する前に、記事を読むかどうかという事は聞いてこない。rnは単に、記事の最初のページ(低ボーレートではページの一部)を表示し、続きを読むかどうかを聞いてくるだけである。通常の記事選択のプロンプトは記事の最後にくる。(ただし記事選択のコマンドは、記事の途中(ページャーレベル)でも使う事ができる。)記事の終わりに表れるプロンプトは次のような物である。:

```
Endofarticle248(of257)--whatnext?[npq]
```

以下は、この時に使えるコマンドである。

n,SP 未読記事を前方へ探す。(ノート:記事の終わりで'n'(next)コマンドを打つ時には、その記事を読み終えたという印は付けない。なぜなら、それは記事の最後の行が表示された時に、自動的に付けられるからである。そのため、'mn'と打つ事により、今読んだ記事をまだ読んでいない事にして、次の記事へ行く事ができる。記事の途中で'n','N','N','s','S'コマンドを実行した時に既読マークが付くのは、特殊な場合であるからである。)

N 次の記事へ行く。

^N 同じタイトルを持った記事を、前方へ探し、^N(タイトル検索モード)を規定値にす

る.

- p 未読記事を後方へ探す.それが無ければ,現在の記事に留まる.
- P 前の記事へ行く.
- 直前に表示された記事へ戻る.(通常は,それが現在の記事の前であっても,後ろに
あってもよい.)
- ^P 同じタイトルを持った記事を後方へ探し,^N(タイトル検索モード)を規定値にする.
- ^R 現在の記事を最初から表示する.
- v 現在の記事を,総てのヘッダーを付けて,最初から表示する.
- ^L 現在の画面を再表示(リフレッシュ)する.
- ^X 現在の記事を,rot13モードで最初から表示する.
- X 現在の画面を,rot13モードで再表示(リフレッシュ)する.
- b 1ページ前に戻る.
- q このニュースグループを抜け,ニュースグループ選択レベルに戻る.
- ^ 未読記事の内の最初の物へ行く.
- \$ 最後の記事へ行く.(実際には,最後の記事の後へ行く.)
- 数字 数字で指定された記事へ行く.

範囲{範囲}コマンド{コマンド}

指定された記事群にコマンド群を実行する.範囲指定は,<記事番号>でも<記事番号>-<記事番号>のどちらでもよい.ドット'.'は,現在の記事に解釈され,ドル'\$'は,最後の記事に解釈される.

使用できるコマンドは,'m'(未読マークを付ける),'M'(あとで未読マークを付ける),'j'(読んだ事にする),'sdest'(ファイルに保存する),'!コマンド'(シェルコマンドを実行する),'='(タイトルを表示する),'C'(キャンセルする)である.

- j 現在の記事を捨てる--それを読んだ事にする.記事の途中でこのコマンドを使うと,'n'のように次の記事へ行ってしまふ事はなく,記事の最後に留まる.
- m 現在の記事を,まだ読んでいない事にする.(タイトル検索モードを使っている時ならば,mの代わりにMを使うとよい.そうしないと,次のタイトル選択の時に現在の記事が選ばれてしまう.)
- M 現在の記事を,まだ読んでいない事にする.ただし,ニュースグループを抜けるま

では有効ではない。それまでは、現在の記事は読んでしまった事になっている。これは他の操作をしたり、他のニュースグループに行った時などに便利である。

/パターン

タイトル中にパターンを含む記事を前方に探す。正規表現の項を参照の事。エスケープによる文字展開機能を使えば、現在の記事と同じタイトル、記事のID、著者名などを持つ記事を探す事は簡単にできる。前のパターンは"<esc>/"で呼び出す事ができる。もしパターンが省略されると、直前のパターンが使用される。

/パターン/h

ヘッダーにパターンを含む記事を前方に探す。

/パターン/a

記事の任意の部分にパターンを含む記事を前方に探す。

/パターン/r

読んでしまった記事も検索対象にして探す。

/パターン/c

大文字と小文字の区別をしない。

/パターン/修正子: コマンド{コマンド}サーチコマンド(h,a,rが修正子として使える)で見付かった記事に対し、コマンド群を実行する。ここで使えるコマンドは、'm'(未読マークを付ける)、'M'(あとで未読マークを付ける)、'j'(読んでしまった事にする)、"sdest"(ファイルに保存する)、"!コマンド"(シェルコマンドを実行する)、"="(タイトルを印字する)そして"C"(キャンセル)である。最初のコマンドが'm'か'M'ならば修正子rが使われる。Kは(Kを除く)総てのコマンドをローカルKILLファイルに追加するために、(コマンドではなく)修正子に含まれる。これは、ニュースグループの中の各記事に対して実行される。

例えば、今のニュースグループにある総ての記事をラインプリンターに出力し、それらを読んだ事にするには"/^/lpr:j"とする。もし"/^/K|lpr:j"とすると、これはあなたがニュースグループに入るたびに実行される。

?パターン

タイトルにパターンを含む記事を、後ろに探す。後方への検索は、?パターン?修正子[:コマンド]に限られる。あなたが後方検索する時には、r修正子を使うのはよくある事であろう。

k 現在の記事と同じタイトルを持つ記事総てを読んでしまった事にする。(ノート: 現在の記事と同じタイトルを持つ記事を、一時的に読んだ事にする(Mコマンド)1文字のコマンドはない。しかし、"/<esc>s/M"を実行する事で実現できる。)

K kコマンドと同じであるが、このニュースグループに入る度にこのタイトルを持った記事に既読マークを付けるために、このニュースグループ用のローカルKILLファイルにも追加する。KILLファイルについては、下の'^K'コマンドを参照の事。また、K修正子については、前出の検索の項も参照の事。

^K このニュースグループ用のローカルKILLファイルを編集する。KILLファイルの

各行には、/パターン/jからなるコマンドが記述してある。(例外として、rnはKILLファイルの先頭に、"THRU<番号>"という形式の行を付け加える。これはrnに対し、すでにKILLしてある最後の記事の番号を知らせるためである。このTHRU行を削除する事で、現在の記事総てに対して再検索させることができる。)mやhや他の修正子を使うと、色々な事ができる。KILLファイル中のM修正子には気を付けなければならない。これは常にある記事を読んでいない状態にする、最も効率的な方法である。これは主に、一連の記事が複数のニュースグループにクロスポストされている時に意味を持つ。この場合、Mによってその記事を別のニュースグループでも読む事ができる。

controlニュースグループで、newgroupの記事だけを見たい時は、例えば

```
/^j
/newgroup/m
```

のようにする。これにより、"newgroup"を除く総ての話題が削除される。KILLファイルに自動的に追加するのはKコマンドとK検索修正子により出来るが、行を削除するには編集するしかない。KILLファイルの編集には、環境変数VISUALかEDITORが設定されていればそのエディターが起動されるが、そうでなければデフォルトのエディター(通常vi)が起動される。

KILLファイル中には、'&'によるスイッチ設定行も書く事ができる。さらに'X'から始まる行は、そのニュースグループに入った時ではなく、出る時に実行される。これにより、各スイッチを元に戻す事ができる。

- r メールを使って返事を出す。環境変数MAILPOSTERとMAILHEADERを設定する事により、rnのメール機能の動作をあらかじめ指定する事ができる(環境の節を参照の事)。記事が"Endofnews-group"のような実在しない記事('\$'コマンドで行く事が出来る)の時は、メール機能は誰にもメールを出さない。

JUNET版rnでは、メールを出す時にホスト漢字コードから、ネットワーク漢字コード(JISコード)への変換を自動的に行ってくれる。

- R 現在の記事を引用して、返事を出す(下の'F'コマンドを参照の事)。環境変数YOUSAIは、メッセージ行のフォーマットを制御する。

JUNET版rnでは、元の記事を引用する時とメールを出す時に、ホスト漢字コードとネットワーク漢字コード(JISコード)間の変換を自動的に行ってくれる。

- f フォローアップの記事を出す。記事が"Endofnews-group"のような実在しない記事('\$'コマンドで行く事が出来る)の時は、オリジナルの記事(basenote)をポストする。

JUNET版rnでは、フォローアップ記事を出す時にホスト漢字コードから、ネットワーク漢字コード(JISコード)への変換を自動的に行ってくれる。

- F ">"か-Fスイッチで指定された記号を前に付けて、元の記事を引用してフォローアップの記事を出す。Rnは、記事のFrom:行から作り出されるメッセージ行を、引用された記事の頭に付け加える。たまにFrom:が正しい名前を含んでいない事が

あるので、あなたは名前の再チェックをする必要があり、必要ならば変更する。環境変数NEWSPOSTER,NEWSHEADERそしてATTRIBUTEIONがrnからポストする時の環境を変更するために使用できる(環境の節を参照の事)。

JUNET版rnでは、元の記事を引用する時とフォローアップ記事を出す時に、ホスト漢字コードとネットワーク漢字コード(JISコード)間の変換を自動的に行ってくれる。

C 自分がポストした記事か、自分がスーパーユーザーの時にのみ、現在の記事をキャンセル出来る。

c このニュースグループの記事を総て読んだ事にする。

u このニュースグループの購読を中断する。

s デスティネーション

ファイルに保存するか、shにパイプで引き渡す。デスティネーションの最初の文字が縦棒ならば、コマンドの残りはシェルコマンドと考えられ、記事が標準入力から入ってくるものとして動作する。ここではファイル名展開はしてくれない。(環境変数PIPESAVERも参照の事。)デスティネーションが縦棒から始まっていなければ、コマンドの残りは何らかのファイル名を表しているものとして扱われる。最初のチルド"'"は、ホームディレクトリー名に変換されるし、環境変数を代わりに使うこともできる。ディレクトリー名だけが指定されると、環境変数SAVENAMEが実際のファイル名として使用される。ファイル名だけが指定されると(すなわちディレクトリーを指定しないと)、環境変数SAVEDIRが実際のディレレクトリーとして使用される。なにも指定しないと、両方の環境変数が使用される。rnのセーブコマンドでは、カレントディレクトリーとしてあなたのプライベートなニュースディレクトリーが使われるので、"s./ファイル名"とするとそのファイルはあなたのニュースディレクトリーに作られる。セーブコマンドでは%文字展開も使えるので、"s%O/ファイル名"とするとrnを起動したディレクトリーの下にファイルが作られ、"s%t"とすると投稿者のアドレスからなるファイル名にセーブされる。

セーブされるファイルのフルパス名が決められると、rnはそのファイルがすでに存在するかどうかチェックする。存在すれば、そのファイルに追加される。Rnは見付かったファイルがメールボックスファイルか普通のファイルかを判断し、記事と同じフォーマットでセーブする。出力ファイルがまだ存在していないなら、rnはどちらのフォーマットでセーブするか聞いてくる。-Mか-Nスイッチで、この質問をとばす事ができる。記事がメールボックスファイルでセーブされる時は、環境変数MBOXSAVERがそのコマンドとして使用される。そうでない時は、NORMSAVERが使われる。

JUNET版rnではセーブされる記事は、自動的にホスト漢字コードに変換される。ただし、パイプに渡される時は漢字コード変換は行わない。

Sデスティネーション

ファイルにセーブするか、cshのような自分が使いたいシェルにパイプで渡す。どのシェルを使うかは、まずあなたの環境変数SHELLが優先され、それがなければニュース管理者がrnをインストールした時に設定された物が使われる。

|コマンド

"s|コマンド"の略.

wデスティネーション

"sデスティネーション"と同じであるが,ヘッダーは削除される.

Wデスティネーション

"Sデスティネーション"と同じであるが,ヘッダーは削除される.

& 現在のコマンドラインスイッチの状態を表示する.

& スイッチ{スイッチ}

コマンドラインスイッチをセットする.

&& 現在のマクロ定義を表示する.

&&キー コマンド

新しいマクロを定義する.

!コマンド

子シェルを起動する.エクスクラメーションが1つ(!)なら,自分のニュース用のディレクトリーでシェルコマンドが実行され,エクスクラメーションが2つ(!!)なら,ニュースのスパールディレクトリーでシェルコマンドが実行される.環境変数 SHELLが設定されていれば,それが使われる.コマンドが指定されなければ,会話型シェルが起動される.

エスケープキーを使うと,色々な実行時の値を得る事が出来る.範囲やサーチコマンドから呼ばれる時にも,シェルコマンドには%展開が使える.

= 未読記事のタイトルリストを表示する.

最後の記事の番号を表示する.

ページャーレベル

ページャーレベル(記事の途中)では,次のようなプロンプトが出る:

--MORE--(17%)

そして,以下のコマンドが使える:

SP 次のページを表示する.

x rot13メッセージを解釈しながら,次のページを表示する.

d,^D 次の半ページを表示する.

CR 次の1行を表示する.

q 現在の記事の最後へ行く(既読マークも,未読マークもつけない)."Whatnext?"というプロンプトが表示される.

j 現在の記事を捨てる.記事を読んでしまった事にし,記事の終わりに行く.

^L スクリーンをリフレッシュする.

X rot13メッセージを解釈しながら,スクリーンをリフレッシュする.

b,^B 1ページ戻る.

gパターン

現在の記事の中のパターンがある所まで行く(前に探す).コマンドとパターンの間には空白はあってはいけない.パターンが見付かれれば,そのパターンを含むページが表示される.パターンを含む行が,そのページの何行目に来るかは,-gスイッチの値で指定される.デフォルトでは,パターンを含む行はスクリーンの一番上に表示される.

G gで搜したパターンを再び探す.

^G これは'g'コマンドの特別なバージョンで,ダイジェスト中に含まれる記事をとばすためにある.このコマンドは,"-g4"の設定をして"g^Subject:"コマンドを実行するのと同じである.

TAB これもまた'g'コマンドの特別なバージョンで,古い記事に含まれる物をとばすためにある.このコマンドは,"-g4"の設定をして"g^[^c]"コマンドを実行するのと同じである.ここで,cはスクリーンの最後の行の最初の文字である.このコマンドは,スクリーンの最後の行と同じ文字で始まっていない,一番最初の行を搜す.

!コマンド

子シェルを起動する.

下のコマンドは現在の記事の残りをとばし,記事の終わりの"Whatnext?"プロンプトに対してそのキーを打ったように動作する.これらのコマンドについては,記事選択レベルの説明を参照のこと.

```
#$&/=?cCfFkK^KmMrR^RuvY^
```

番号

範囲{範囲}コマンド{コマンド}

下のコマンドも記事の終わりまでとばすが,現在の記事に既読マークも付ける.

```
nN^NsS|wW
```

コマンドに関するメモ

"Lastnewsgroup"プロンプトや>Lastarticle"プロンプトに対して'n'キーを打つと,ニュースグループや記事リストの最初に戻るが,'q'はこのレベルを抜ける.(n'は"no"という意味

ではなく,"next"という意味である。)スペースはデフォルトとして表示されているコマンドを実行する。それらは、あなたが次の記事やニュースグループを読むであろうと設定されている。

'b'(ページ戻り)コマンドは、記事の最初に戻るまで繰り返し使える。もしrnが'^Z'によって中断されているならば、それが再開された時に、リフレッシュ('^L')が自動的に実行される(パークレ版システムのみ)。'!'コマンドや's'コマンドによって、記事の途中から終わりとばされた時は、'^L'によっていつでも元の場所に戻る事ができる。

!', 's', '/'などの複数文字を必要とするコマンドでは、エスケープと任意の文字を入力する事で、色々な実行時の値を得る事ができる。どんな実行時の値を得る事ができるかは、エスケープと'h'キーで調べるか、文字置換の節の環境変数に対する%文字置換を調べる。どちらで調べても同じである。付け加えると、エスケープを2回押すことで、すでに入力した文字列中の%置換指定を実行して、得られた値で置き換える事ができる。

オプション

Rnにはあなたが望んだ通りの設定ができるように、多くのオプションが用意されている。(著者としては"-e-m-S-/"を推奨する。)これらのオプションは、コマンドライン、環境変数RNINIT,または環境変数RNINITが示すファイル、もしくはrn内での&コマンドによって設定される。オプションは通常は"+スイッチ"で解除される。オプションには次の物がある:

-c ニュースを読まずにニュースをチェックする。コマンドラインでニュースグループリストが与えられると、それらのニュースグループだけがチェックされる。そうでないなら購読中の総てのニュースグループがチェックされる。-cスイッチを指定した時に、rnから0以外の値が帰ってきたら、チェックしたニュースグループの中に未読ニュースがある事を示している。-cスイッチでは、未読ニュースのリストを表示させないようにする事はできない。それは-sスイッチで行う。(-cスイッチが&コマンドから設定された時は、無効になる。)

-C<数字>

は記事を読んでいる時にrnがどれだけの頻度で.newsrcをチェックするかを設定する。実際に、この数字は状況が正しい時に、いつチェックを開始するかを示している。記事が10ほどしかなく、ほどよいチェックがなされない時は、newsrcは否応なしにチェックされる。

-d<ディレクトリー名>

は~/News以外のデフォルトのセーブディレクトリーを設定する。もし必要ならば(そして可能ならば)、ディレクトリー名は(cshによって)展開される。rnによってセーブされる記事は、セーブディレクトリーかそのサブディレクトリーに置かれる。そのどちらになるかは、あなたが指定したコマンドと環境変数SAVEDIRとSAVENAMEに依存する。総てのKILLファイル(記事選択レベルのKコマンドを参照の事)もまた、デフォルトでこのディレクトリーやサブディレクトリーに置かれる。さらに、子シェルの実行はこのディレクトリーで行われる。

-D<フラグ>

はデバッグモードの出力を行う。指定できるフラグの値は、common.hを参照の事。ワーニング:通常rnは予期しないシグナルが来たり、内部エラーが生じたりする

と、あなたの.newsrcを元に戻そうとする。デバッグフラグをセットすると、この動作をしなくなる。

- e は、各記事の最初のページだけでなく、全ページを常にスクリーンの一番上から表示する。(これは、more(1)の-cスイッチに似ている。)このスイッチにより、あなたはスクロール中の文章を読まなくてもすむようになる。これはある一定のボーレートの端末には特に有効であろう。なぜなら、あなたは次のページが全部表示されるのを待たずに、次ページの最初の文章を読む事ができるからである。これは特に、半輝度ハイライトモードで-mスイッチと共に使うとよりよく動作する。-Lスイッチも参照の事。

-E<名前>=<値>

は環境変数<名前>に値を設定する.rn内では"&-ESAVENAME=%t"は、cshでの"setenvSAVENAME%t"や、shでの"SAVENAME='%t';exportSAVENAME"と同じである。-Eで設定された総ての環境変数は、rnの子プロセスに受け継がれる。

-F<文字列>

は、'F'フォローアップコマンドで引用された記事の各行の頭に付ける、引用マークの文字列を設定する。例えば、"-F<tab>"は各行の頭にタブを入れるし(こうすると、長い行は折り返えされてしまう)、"-F>>>>"は">>>>"を各行の頭に付ける。そして"-F"だけだと、何も頭に付けない。これは例えば、文章を再編集したい時などに有効である。デフォルトの引用マークは">"である。

-g<行>

は、記事の中で'g'コマンドを使って文字列をサーチする時に、見付かった行をスクリーンの何行目に持ってくるかを設定する。各行は1から数える。デフォルトは"-g1"で、これはスクリーンの一行目に表示する事を示している。1より小さい値や、スクリーンの行数より大きな値を設定すると、スクリーンの一番下に表示されるように設定される。

-h<文字列>

が設定されていると、<文字列>から始まるヘッダー行が見えなくなる(表示しなくなる)。例えば、-hexpは"Expires:"行を表示しないようにする。<文字列>に何も与えられていないと、タイトルを除いて総てのヘッダーが隠される。そして+hによって、表示したい行を選択できる。あなたはボーレートスイッチ修正子によって、低いボーレートの時に通常より沢山の行を隠すようにする事もできる。

-H<文字列>

は-hと似た動作をするが、ヘッダー行に対して非表示フラグを設定するのではなく、そのヘッダー行に対してマジックフラグを設定する。あるヘッダー行はこれによりマジック動作をするようになる。現在次の動作が、特定の行に対するマジックフラグにより実現されている:Newsgroups行は複数のニュースグループがある時(クロスポスト時)にのみ表示され、Subject行は下線付きで表示され、Expires行は常に表示されない。これらはデフォルトで動作するよう設定されており、+Hで動作しないようにする事ができる。

-i=<数字>

によって、記事の最初のページの表示される長さ(行数)が決まる--通常これはボーレートに依存して自動的に設定される。(記事のヘッダーは常に、設定された最初

のページの行数を考えないで表示される。もし低ボーレートで使用していて、ヘッダーの行数を抑えたい時は、-hスイッチでどれかの行を隠せばよい。)

- l により、変な端末を使っている時に、各記事を表示する時にスクリーンをクリーンアップしないようにする。
- L を設定すると、rnは次のページに行く時に、スクリーンをクリアしないでできるだけ前の情報をスクリーンに残そうとする。最終行が来た時だけ残りをクリアする。(more(1)はこの動作をする。)この動作は、あなたが必要なエントリを持っている termcap を使用している時に限られる。このスイッチは、-eスイッチが設定されるまでは何の効果も発揮しない。

-m=<モード>

を設定すると、前のページの最後の行にマークを付ける。これによりユーザーは、どの行から続きが始まるかがわかり易くなる。これは全ページより少ない行数しか表示されない時などに有効である。これはまた、-eスイッチと共に用いられる。この場合前のページが消され、最初の行(これが前のページの最後の行である)が強調される。-m=sが設定されると、スタンドアウトモードが使われ、-m=uが設定されると、下線モードが使われる。-m=sも-m=uも与えられなかったら、スタンドアウトモードが使われる。+mを使えば、強調されなくなる。

- M により、新しいセーブファイルが作られる時メールボックスフォーマットが使われる。通常は、どちらを使うかを聞いてくる。

- N により、新しいセーブファイルが作られる時ノーマル(メールボックスでない)フォーマットが使われる。通常は、どちらを使うかを聞いてくる。

- r によりrnは、直前のrnのセッションで読んでいたニュースグループからスタートする。これは、通常に起動してgコマンドでニュースグループを移動するのと同じである。

- s が引数なしで指定されると、-cが指定されていようとなかろうと、未読ニュースがあるニュースグループの初期表示が抑制される。従って、あなたの.loginファイル中で-cと-sを共に用いる事で、ニュースの状態を"静かに"テストする事ができる。もし-sに数字の引数があれば、それ以上の初期表示が抑制される。前もってあなたの.newsrcを読みたい順にソートしておけば、-s5はあなたに、未読ニュースがあるニュースグループのうち、読みたい順に5つ表示してくれる。これを.loginファイル内で使えば、未読ニュースがある事を知らせるだけでなく、その未読ニュースがどれだけ読みたい物かが判るので、全部の未読ニュースグループリストをチェックする必要もなく、有効にチェックできる。起動時に-sスイッチが指定されないと、-s5が設定される。そのためあなたの.loginファイルには"rn-c"と入れておけばよい。

-S<数字>

によりrn内において、<数字>よりも多い未読記事があるニュースグループを読む時はいつも、自動的にタイトル検索モード(*N)が設定される。さらに、タイトル検索モード中に'n'が使われると、タイトル検索モードは中断される。(タイトル検索モードに戻る一番いいコマンドは、たぶん'^'である。)もし<数字>が省略されると、3が使われる。

- t はrnを簡潔モードにする.これはより暗号めいているが,低ボーレートの時には有効である.(あなたのシステム管理者は,rnをコンパイルする時に,単にメモリーをセーブするために簡潔メッセージを使用しているだろう.)あなたはボーレートスイッチ修正子によって,低いボーレートの時にのみ簡潔モードにする事ができる.
- T によって先行入力できるようになる.通常rnは,あなたのキーボードがオートリピートで,あなたがそれを不注意で押し続ける形になってしまった時に起こるであろう,イライラする現象を避けるため,先行入力を無視するようになっている.オートリピートでないキーボードを使っていたり,低ボーレートの時は,このスイッチを設定して先行入力を有効にする事ができる.あなたはボーレートスイッチ修正子によって,低いボーレートの時にのみ先行入力できるようにする事ができる.
- v はコマンドの検証モードを指定する.指定されると,実際に入力されたキーに対して,実行されるべきコマンドがフィードバックされて表示される.このモードはシステムが非常に遅く,本当にコマンドが認識されているのかを確認したい時などに有効である.
- / はSAVEDIRを"%p/%c"にしSAVENAMEを"%a"にする.これはデフォルトで,記事があなたのプライベートニュースディレクトリーの中の,現在のニュースグループ名を持ったサブディレクトリーに,記事の番号をファイル名としてセーブされる事を意味している.+/-はSAVEDIRを"%p"にしSAVENAMEを"%^C"にする.これはデフォルトで,記事があなたのプライベートニュースディレクトリーに,現在のニュースグループ名の最初の一文字を大文字にしたファイル名でセーブされる事を意味している.(+/-のどちらがデフォルトかは,あなたのシステムのニュース管理者がrnをインストールした時の状況によって決まる.)もちろん,あなたは自分でSAVEDIRとSAVENAMEの値を設定できる--環境変数の節を参照の事.

総てのスイッチは,現在のボーレートによって有効にするか否かを選択する事ができる.単に各スイッチの前に+スピードを付けると,そのスイッチはそのスピード以上の時に有効になり,-スピードとするとそのスピード以下の時に有効になる.

例:-1200-hpostedは1200ボー以下の時にPosted行を隠す.また,
+9600-mは9600ボー以上の時にマーキングを有効にする.修正子は再帰的に指定できる:+300-1200-tは300から1200ボーの時に簡潔モードを設定する.

同様に,各スイッチは端末タイプで選択的に有効にする事もできる

```

-=vt100+T      はvt100の時に+Tを指定する
-=tvi920-ETERM=mytviは特殊なtermcapエントリーをマップする
-=tvi920-ERNMACRO=%./.rnmactvi
                  は特殊なキーマップを実行する
+=paper-v      はハードコピーでない時,エコーモードを指定する

```

環境変数の値などの,幾つかのスイッチの引数には空白がある事がある.そのような空白をRNINITの中や&コマンドで指定するには,";"や^などの常套手段を使ってエスケープする.

正規表現

記事検索のパターンには,ed(1)で使われる正規表現を使う事ができる.さらに,¥wは英数字に相当し,¥Wはそれ以外に相当する.単語の境界は¥bで表し,¥Bで非境界を表す.カッコによる括り出し¥(...¥)も使えるし,¥数字で<数字番目>の文字列を表す.数字には1から9が使える.¥0は直前にカッコ内の正規表現が表したパターンを表す.パターン中では¥|で区切られた二者択一が10個まで使えるが,¥(...¥|...¥)は使えない.

文字置換

rnが使う特定の文字列は,色々な文字置換を行う.ファイル名展開では,最初の"/"はあなたのホームディレクトリー名に置換されるし,""名前"はそのユーザーのログインディレクトリーに置換される.さらに,環境変数の展開や下に述べられているバックスラッシュ(¥)置換,上矢印(^)置換,そしてパーセント(%)置換を使う事もできる.

総ての置換文字列は,バックスラッシュ,上矢印,そしてパーセント置換で展開される.バックスラッシュ置換はよく使われている物と同じである(例えば¥n,¥t,¥nnn,など).上矢印置換は通常のコントロールコードを表す.バックスラッシュと上矢印は前にバックスラッシュを付ける事で,バックスラッシュと上矢印その物を表す.パーセント置換はprintfのパーセント置換と同じような物である.これは現在の色々な実行時の値を,文字列として置き換えてくれる.現在使えるのは以下の通り:

- %a 現在の記事番号.
- %A 現在の記事のフルファイル名(%P/%c/%a).(EuniceシステムでLINKARTオプションでコンパイルしてある時は,現在の記事が複数のニュースグループにクロスポストされている時に,%P/%c/%aは現在のニュースグループの記事名になるが,%Aはその記事の実体が本当にあるニュースグループの記事名になる.)
- %b 直前にセーブしたファイル名.たいていメールボックスフォーマットである.
- %B セーブコマンドによって設定される,セーブされた内容の記事の先頭からのバイトオフセット.'s'と'S'コマンドでは0に設定されるが,'w'と'W'コマンドでは記事本文のバイトオフセットが設定される.
- %c ディレクトリー形式で表した,現在のニュースグループ.
- %C ドット形式で表した,現在のニュースグループ.
- %d ニュースグループディレクトリーのフルパス名(%P/%c).
- %D 現在の記事の"Distribution:"行.
- %f 現在の記事の"From:"行か,あれば"Reply-To:"行.%tと違うのは,%fでは(フルネームなどの)コメントが省略されない事である.
- %F 現在の記事の"Newsgroups:"行と"Followup-To:"行から作られる,新しい記事のための"Newsgroups:"行.

- %h メイラやニュースポストプログラムに渡されるヘッダーファイル名.これにはメイラやニュースポストプログラムが,メッセージヘッダーとして必要とする情報が総て記述されている.また,このファイル中には現在の記事のコピーも含まれる.ヘッダーファイルのフォーマットは,環境変数MAILHEADERやNEWSHEADERによって決められる.
- %H ホスト名(あなたのマシン名).
- %i 現在の記事の<>で囲まれた"Message-I.D.:"行
- %I 引用マーク(-Fスイッチを参照の事.)
- %l ニュース管理者のログイン名.
- %L (あなたの)ログイン名.
- %m 条件マクロで使うための,現在のrnのモード.
- i イニシャライズ.
 - n ニュースグループ選択レベル.
 - a 記事選択レベル(Whatnext?).
 - p ページャーレベル(MOREプロンプト).
 - A ニュースグループを追加するか?
 - C このニュースグループの記事を総て既読にするか?
 - D 不要ニュースグループを削除するか?
 - M メールボックスフォーマットを使うか?
 - R もう一度このニュースグループを読めるようにするか?
- yes/noを聞いてくるのは,大文字のモードの時である.例えばyes/noを聞いて来た時に,スペースでデフォルトキーの代わりをするのをやめさせるには,次のマクロを定義すればよい:
- ```
¥ 040%(%m=[A-Z]?h:)
```
- %M    'M'コマンドで未読になるマークが付けられている記事の数.現在のところ,同じ記事に複数回マークが付けられていると,"%M"はそれらを複数回数えてしまう.
- %n    現在の記事の"Newsgroups:"行.
- %N    (あなたの)フルネーム.
- %o    (あなたの)所属.
- %O    作業ディレクトリー(rnを起動した場所).
- %p    あなたのプライベート・ニュースディレクトリー,通常~/Newsである.
- %P    公共ニュース・スプールディレクトリー,通常/usr/spool/newsである.

- %r** 現在の記事の"References:"行からの直前の参照記事ID(親記事のID).
- %R** 現在の記事の"References:"行と、現在の記事のIDから作られる、新しい記事のための参照記事リスト.
- %s** Re:や(nf)を取り除いたタイトル.
- %S** 一つ"Re:"を取り除いたタイトル.
- %t** 現在の記事の"From:"行と"Reply-To:"行から作られる"To:"行.これは常にインターネットアドレス形式になる.
- %T** 現在の記事の"Path:"行から作られるuucpパス形式の"To:"行.
- %u** 現在のニュースグループの未読記事数.
- %U** 現在の記事を含まない、現在のニュースグループの未読記事数.
- %x** ニュースライブラリーディレクトリー.
- %X** rnライブラリーディレクトリー.
- %z** 現在の記事のバイト数.
- %`** あなたのホームディレクトリー.
- %.** あなたのドットファイルがあるディレクトリー名.rnが起動された時に環境変数DOTDIRが定義されていなければ、あなたのホームディレクトリーになる.
- \$\$** 現在のプロセス番号.
- %/** 直前のサーチ文字列.
- %%** パーセント記号.
- %{名前}or{%名前-デフォルト}**  
環境変数"名前".
- %[名前]** 現在の記事の"名前:"行の内容."名前:"は含まれない.例えば,"%D"と"%[distribution]"は同じになる.名前は省略形ではない.
- %`コマンド`**  
コマンドの実行結果.改行は総て空白に置き換わる.
- %"プロンプト"**  
端末にプロンプトを表示し、文字列の入力を待って、それを挿入する.
- %(テストテキスト=パターン?真時テキスト:偽時テキスト)**  
テストテキストがパターンと一致すれば真時テキストになり、そうでなければ偽

時テキストになる。":偽時テキスト"は省略もでき、その時は空文字列になる。=の代わりに!=にすると、真偽が入れ替わる。予約語('=','?','!',や'|')を文字として使いたい場合は、バックスラッシュを前に付ける。

%数字 数字1から9は、幾つかの選択枝を持った直前のパターンのn番目の文字列になる。直前のパターンが二者択一ならば、幾つの選択枝があったかは知らなくてよい。%0で最後に一致した文字列になる。

修正子:最初の文字を大文字にするには、'^'を入れる: "%^C"とすると、"Net.jokes"のようになる。'\_ 'を入れると、最後の'/'の後の最初の文字が大文字になる: "%\_c"とすると、"net/Jokes"のようになる。

## ENVIRONMENT

以下の環境変数が、rnで使用される。一般にrnで使われるこれらの環境変数のデフォルト値は、適切な値になっている。そのため、あなたが初めてrnを使う時は、この節の内容は知らなくても大丈夫である。ここで述べているデフォルト値は、必ずしもあなたのシステムのデフォルト値と一致するとは限らない。正しいデフォルト値が知りたい時は、rnのソースディレクトリーのconfig.hとcommon.hおよび、rnライブラリのINITファイルを見なければならない。

各環境変数の(%)記号は、その内容に%文字展開が使える事を意味し、(^)記号はその内容に%文字展開とディレクトリー展開が使える事を意味する。

### ATtribution(%)

Fコマンドで引用する記事の前に付ける、引用記事の表示行の内容。

デフォルト: Inarticle%i%f writes:

### CANCEL(^)

記事をキャンセルする時に使用するコマンド。

デフォルト: inews-h<%h

### CANCELHEADER(%)

記事をキャンセルするために、CANCELコマンドに渡されるファイルの内容。

デフォルト:

Newsgroups:%n

Subject:cmsgcancel%i

References:%R

Reply-To:%L@%H.UUCP(%N)

Distribution:%D

Organization:%o

%icancelledfromrn.

DOTDIR ドットファイルのディレクトリー名。あなたのホームディレクトリー以外に各ドットファイルがある時に指定する。"%."で展開される。

デフォルト:\$HOME

## EDITOR(~)

VISUALが未定義の時のあなたのエディター名.

デフォルト:あなたのニュース管理者がコンパイル時に設定した物.通常はviである.

## FIRSTLINE(%)

各記事の先頭に表示される行の内容.ワーニング:これはなくなるかもしれない.

デフォルト:Article%a%(%U%M!=^00\$?(%U  
more%(%M!=^0\$?+%MMarkedtoreturn)%)in%C;  
moreorless.

## HIDELINE

定義されている場合,その正規表現に一致する記事の各行が隠される.これにより例えば,記事中の引用部分を表示させなくする事ができる.そのためには"^>..."とすることを薦める.こうすると'>'だけの行は隠さないで,引用記事がとばされている事を示す事ができる.複数パターンを指定したい時は,"|"で分離させて指定できる.隠されている行を見たい時は,'v'コマンドでその記事を再表示させればよい.

これは記事の各行が正規表現に一致するかどうかを見ているので,多少のオーバーヘッドがある.ボーレート修正子を使って,低ボーレートの時だけ有効にさせる事もできる.

デフォルト:未定義

HOME あなたのホームディレクトリー.これは^展開と,DOT-DIRが定義されていない時のあなたのドットファイルの位置に影響を及ぼす.

デフォルト:\$LOGDIR

## KILLGLOBAL(~)

各ニュースグループに適用されるKILLファイルのある場所.ニュースグループ選択レベルの'^K'コマンドを参照の事.

デフォルト:%p/KILL

## KILLLOCAL(~)

現在のニュースグループに適用されるKILLファイルのある場所.記事選択レベルの^K'コマンドと'^K'コマンド,検索修正子^K'を参照の事.

デフォルト:%p/%c/KILL

LOGDIR HOMEが未定義の時のあなたのホームディレクトリー.これは^展開と,DOT-DIRが定義されていない時のあなたのドットファイルの位置に影響を及ぼす.

す.

デフォルト:なし.

注意:\$HOMEか\$LOGDIRが必ず必要である.

LOGNAME USERが未定義の時のあなたのログイン名."%L"展開で使用される.

デフォルト:getlogin()の値.

MAILCALL(~)

新しいメールが来た時のメッセージ.

デフォルト:(Mail)

MAILFILE(~)

メールの到着をチェックする場所.

デフォルト:/usr/spool/mail/%L

MAILHEADER(%)

リプライ時のヘッダーファイルのフォーマット.MAIL-POSTERも参照の事.

デフォルト:

To:%T

Subject:%(i=^\$?:Re:%S

Newsgroups:%n

In-Reply-To:%i)

%([references])!=^\$?References¥:%[references])Organization:%o

Cc:

Bcc:¥n¥n

MAILPOSTER(~)

リプライコマンド(rとR)で使われる,手紙を書いて配達するためのシェルコマンド.Rnは自分自身では,リプライのためにエディターを起動する事はしない--それはrnと呼ばれるシェルコマンドの機能で実現される.MAIL-HEADERも参照の事

デフォルト:Rnmail-h%h

MBOXSAVER(~)

記事をメールボックス・フォーマットでセーブする為のシェルコマンド.

デフォルト:%X/mbox.saver%A%P%ca%B%C"%b"¥

"From:%T%`date`"

解説:最初の7つの引数はNORMSAVERと同じである.シェルスクリプトに渡される8つめの引数は,その記事がポストされた日付を付けた新しいFrom:行を作りだす.日付はPosted:行か,それがなければDate:行から作られる.Headermungingatits

finest.

NAME あなたのフルネーム."%N"展開で使用される.

デフォルト:/etc/passwdか, ~/.fullnameから取り出された名前.

#### NEWSHEADER(%)

フォローアップの時のヘッダーファイルのフォーマット.NEWSPOSTERも参照の事.

デフォルト:

```

Newsgroups:%(F=^$?%C:%F)
Subject:%(S=^$?"0object:":Re:%S)
Summary:
Expires:
%(R=^$?:References:%R)Sender:
Reply-To:%L@%H.UUCP(%N)
Followup-To:
Distribution:%(i=^$?"0istribution:":%D)
Organization:%o
Keywords:¥n¥n

```

#### NEWSPOSTER(~)

フォローアップニュース記事を書いてポストするために,フォローアップコマンド(fとF)で使用されるシェルコマンド.Rnは自分ではフォローアップのためにエディターを起動することはしない--それは,rnから呼ばれるプログラムの機能で実現される.NEWSHEADERも参照の事.

デフォルト:Pnews-h%h

#### NORMSAVER(~)

通常フォーマット(メイルフォーマットでない)で記事をセーブする時のシェルのコマンド.

デフォルト:%X/norm.saver%A%P%c%a%B%C"%b"

#### ORGANIZATION

あなたの所属の名前か,あなたの所属が書いてあるファイル名."%o"展開にて使用される.

デフォルト:あなたのニュース管理者がインストール時に設定した物.

#### PAGESTOP

定義されていると,その正規表現に一致する記事中の行が表示された所で一時的に表示を止める.これによって,次のような事ができる.記事をダイジェストと本文に分けるには,"^-----"を定義すればよい.またsignatureを表示する前で止めるには,"^--\$"を定義すればよい.(この場合signatureを見たくなければ,"--"がページの一番下に表れた時点で,スペースの代わりに'n'を押せばよい.)上の2つとも実現



するには"^-"を定義すればよい.2パターン以上の行で止めたい時は,各正規表現を"|"で区切って定義すればよい.

これは記事の各行が正規表現に一致するかを見ているので,多少のオーバーヘッドがある.ポーレート修正子を使って,低ポーレートの時だけ有効にさせる事もできる.

デフォルト:未定義

#### PIPESAVER(%)

パイプに引き渡す("s|コマンド"や"w|コマンド")代わりに実行されるシェルコマンド.ユーザーが入力したコマンドは%bで表される.

デフォルト:%(%B=^0\$?<%A:tail+%Bc%A|)%b

説明:もし%Bが0ならば,コマンドは"<%A%b"となり,そうでなければコマンドは"tail+%Bc%A|%b"となる.

**RNINIT** RNINIT中に設定してある各スイッチの値がrnに渡される.RNINITで設定されたスイッチの値は,総てコマンドラインからの指定やrn内での'&'コマンドによって変更可能である."-switch"で設定される2値スイッチは,"+switch"によって解除される.

RNINITが'/'から始まる時は,各スイッチの設定が記述してあるファイル名を示す.たくさんの環境変数を設定したいけれども,自分の環境中には残したくない場合や,他のプログラムで環境変数名が重複する時は,このファイルの中に-Eスイッチで記述する事により,rnの中でのみ有効にする事ができる.

デフォルト: "".

#### RNMACRO(~)

マクロやキーマップが記述してあるファイル名.MACROSの節を参照の事.

デフォルト:%./rnmac

#### SAVEDIR(~)

セーブコマンドにてディレクトリーが指定されなかった時の,記事をセーブするディレクトリー名.

デフォルト:

もし-/がセットされていれば:%p/%c

もし+/がセットされていれば:%p

#### SAVENAME(%)

セーブコマンドにてディレクトリー名しか指定されなかった時の,記事をセーブするファイル名.

デフォルト:

もし-/がセットされていれば:%a

もし+/がセットされていれば:%^C

SHELLあなたが使いたいシェルの名前.それは,'!', 'S'そして'W'コマンドで使われる.

デフォルト:あなたのニュース管理者が,インストール時に設定した物.

SUBJLINE(%)

記事選択レベルの'='コマンドで表示される行のフォーマットを制御する.

デフォルト:%s

TERM TERMCAPの中にエントリーがあれば,そのどれを使うかを選択する.

TERMCAPあなたのtermcapファイルの名前か,termcapのエントリーを保持している.

デフォルト:通常は/etc/termcap.

USER あなたのログイン名."%L"展開で使用される.

デフォルト:\$LOGNAME

VISUAL(^)

あなたのエディタの名前.

デフォルト:\$EDITOR

YOUSAIID(%)

Rコマンドで引用された記事の前に付ける,メッセージ行のフォーマット.

デフォルト:Inarticle%iyowrite:

## MACROS

rnは起動する時に,マクロ定義ファイルを参照する(環境変数RNMACROを参照の事).各コマンドシーケンスは,それぞれのキーに対応づけられている.あなたが望むなら,それを再マッピングする事ができる.マクロファイル中の,空白行や#から始まる行はコメントとみなされる.それ以外の空白で区切られた2つのフィールドが, rnにとってマクロ定義とみなされる.最初のフィールドがマクロ用のキーストロークで,2つ目のフィールドがそれによって実行されるコマンドシーケンスを定義する.両フィールド共,%展開や^シーケンス,上矢印シーケンスが使える.(キーストロークフィールドは起動時に展開され,コマンドフィールドはマクロ実行時に展開される.これは状態分岐などのためである.)例えば, rn中でキャリッジリターンとスペースを入れ替えたい時は

^J^040

^M^040

^040^J

とすると実現できる.デフォルトでは,コマンドフィールドの総ての文字は標準的なrnの文字として展開をされる.すなわち,そこではマクロ展開はしない.そうしないと例えば,

上の例などは無限ループを引き起こす.コマンドフィールドでマクロ展開をするには,^(...)で囲んでマクロを呼び出す:

```
@s|mysavescript
@ww^(@s^)
```

また,異なった環境では異なったマクロにできるよう,%( )条件選択を使うこともできる.特にrnの現在のモード(%m)は,特殊な状態の時だけ動くコマンドを作るためによく使われる.例えば,

```
^[O%(m=p?¥040)
```

はページャーレベルの時にだけ動くマクロになる.

```
%({TERM}=vt100?^[O)/^J
```

は端末がvt100の時にだけ設定される.しかし,たくさんの端末用にたくさんのマクロを使い分けるのならば,それぞれ端末ごとの別ファイルにする方がよい.

シークエンスの後に一般的なゴミ文字を置くようなファンクションキー(Televideo920 ファンクションシークエンスの後のキャリッジリターンなど)をマクロにしたい時は,シークエンス中に絶対キャリッジリターンを入れてはならない.さもないと,かなりの量の

初期メモリを浪費する事になろう."^AF^M"の代わりに,"^AF+1"とする事によって,rnにFの後に一文字必要とする事を知らせる事ができる.

## AUTHOR

LarryWall<lwall@sdcrcf.UUCP>  
 正規表現ルーチンは,JamesGoslingのemacsから借りた.  
 JUNET版: 加藤朗<kato@cs.titech.JUNET>  
     篠田陽一<shinoda@cs.titech.JUNET>  
     橘浩志<tachi@cs.titech.JUNET>  
     マニュアル訳:吉田茂樹<shige@csk.JUNET>

## FILES

%./newsrsrcあなたのニュース購読状態

%./oldnewsrsrc

rn起動時に作られる,あなたの.newsrsrcのバックアップ

%./rnlockロックファイル.これにより.newsrsrcを壊す事を防ぐ.

%./rnlast前回のrnの実行による情報

%./rnsoft素早く立ち上げるために.newsrsrcの各行を/usr/lib/news/activeに結び付けるソフトポインター

%./rnheadメイラやニュースポストプログラムに渡される,一時的ヘッダーファイル

%./rnmacマクロやキーマップ情報

%pあなたのニュース収納ディレクトリー,通常~/Newsである

%x/activeあなたのサイトが購読中のニュースグループの状態リスト,通常/usr/lib/news/activeである

%Pニューススプールディレクトリー,通常/usr/spool/newsである

%X/INITシステム全体に渡って使われるデフォルトのスイッチ

## SEEALSO

newsrsc(5),more(1),readnews(1),Pnews(1),Rnmail(1)

## DIAGNOSTICS

Generallyself-documenting,astheysay.

## BUGS

-hスイッチで隠せるのは,rnが知っているヘッダー行のみである.

!コマンドでは,ニュースグループをまたいで戻る事はできない.

rnが動いている間にあなたの.newsrscを編集しても,rnが終わる時に.newsrscにセッションの結果を書き込むので,あなたが変更した結果は無視されてしまう.

Rnは,著者がinewsがやるべきだと思っている事はしない(ポストの日付順に記事を並べるなど).

inewsにXrefパッチをあてないと,クロスポストされた記事の両方に読んだというマークを付ける機能は動かない.

%やESC変換を使いすぎると,バッファがオーバーフローする事がある.

ニュースグループの数の制限はされていない.

アドレス空間が限られるマシンでは,いくつかの高度な機能が使えない事がある.

付録 C

vn ユーザーズ マニュアル

## NAME

vn - 記事選択型ニュースリーダー

## SYNOPSIS

vn[-xSU%][ -n グループ名... ][ -t タイトル中の文字列... ]  
[ -w 投稿者名中の文字列 ... ]

## DESCRIPTION

このマニュアルは、R.L.McQueer氏作のオリジナルvnにJUNETにおいて改良が加えられた、バージョン"12/86 + 09/87c"に対応するものである。

vnは、readnews(1)と同じ.newsrcを用いるニュースリーダーである。しかし、記事の一覧から読みたい記事を選ぶことができるなど、様々な点でreadnewsとは異なっている。vnのねらいは、読みたい記事を探しながら多数のニュースグループを高速に走査することができるようにすることであり、ニュースの読者というのは「ある時点で注目しているのは少数の記事であるが、他の多くのニュースグループにも興味を引く記事があるかもしれないので、それらも常に監視しておきたい」ものである、ということを大前提としている。またvnは、ダイジェストニュースを個々の記事に展開する機能も備えている。

vnのオプションはコマンド行中及び.newsrcのoptions行中のどちらでも指定することができる。readnewsのオプション-n,-x,-t(ニュースグループの指定、既に読んだ記事も読むことの指定タイトル中の文字列指定)はvnにおいても実現されているが、これらに加えて-wというオプションがサポートされている。これは記事の投稿者名中の文字列を指定するものであり、-tオプションでは記事のヘッダのSubject:行を見るのに対して、-wオプションではFrom:行を見ることになる。文字列には正規表現を使うことが可能である。また、文字列が"!"で始まっている場合は、"!"の後に書いた文字列を含まないことを意味すると解釈される。

例) -n fj.general -w !Ishibashi -t [Kk]anji

は、「グループfj.generalの漢字に関する記事で、Ishibashi以外の人が投稿したもの」を意味する。

ただし、コマンド行中の文字列指定で正規表現として!\*[]などの文字を使用する場合には、それらがシェルにより特別な意味に解釈されてしまわないように、"で囲むなどしてエスケープする必要がある。

-w,-tオプションが重複して用いられた場合は、次のように解釈される。

!"のついた文字列指定が含まれているとき、記事がそれらの指定の!"に続く文字列に1つでもマッチするならば、その記事は選ばれない。この場合、!"のついていない指定は無視される。

-wオプションが複数個指定された場合は、それらの指定の少なくとも1つにマッチする記事が選ばれる。-tオプションの場合も同様である。

`-w`と`-t`の両方が指定された場合は、`-w`のうちの少なくとも1つと、`-t`のうちの少なくとも1つにマッチしたときに限り、その記事が選ばれる。

`-n`オプションにおいては、`".all"`という書き方が可能であり、これは`".*"`と同じ意味に解釈される。また、`-n`オプションの指定が複数個ある場合、それらは書かれた順に処理される。従って、`".all"`指定の後にその中の特定のグループを読まない指定が続いたりすると、`".all"`が部分的に打ち消されることになる。`vn`の`-n`オプションでは、`readnews`の場合と違い、`"foo"`という指定が`"foo.all"`(`foo`のサブグループ)を含まないことに注意する必要がある。これは、サブグループを含まない`"foo"`そのものを容易に指定できるように(あえて`readnews`との互換性を捨てて)設けられた仕様である。

コマンド行中で指定したオプションは、`.newsrsrc`中での指定に優先する。コマンド行で`-n`オプションを指定すると、`.newsrsrc`中でそのグループを`"!"`により読まないように(`unsubscribe`)していても無視され、そのグループの記事を読むことができる。つまり、コマンド行中の指定により、`.newsrsrc`中の指定を超えたグループ指定が可能になる。ただしコマンド行中で`-S`オプションを指定すると、`.newsrsrc`中の`"!"`は有効であるとされ、それらのグループは選ばれない。この`-S`オプションは`.newsrsrc`中に書いても無意味である。

他に指定可能なオプションには`-%`と`-U`がある。`-%`オプションを指定すると、最初のニュースグループに対するページを表示する前に、`-%`コマンド(後述)の結果を出力する。これにより、記事を読むフェーズに入る前に、これから表示される記事の数、グループなどを知ることができる。`-U`オプションを指定しておくと、`.newsrsrc`を更新する際に、`"!"`のついたグループについても更新が行われる。ここで、「`.newsrsrc`を更新する際」というのは、`vn`を終了する時の「`.newsrsrc`を更新しますか」という問いに`"y"`と答えた場合、及び`vn`中で`Ctrl-W`コマンドを実行した場合である。`"!"`のついたグループに関する記述は、通常は更新されないが、現在ある記事のうち最小の番号のものの1つ前まで読んだ状態にされる。従ってこのようなグループの`"!"`を除いた途端、大量の記事を読まされることになる。これが気に入らなければ、`-U`オプションを設定しておくといよい。そうすれば、`Ctrl-W`コマンドを実行したり、終了時に`"yes"`と答えることにより、`"!"`のついたグループについても`.newsrsrc`は常に最新の記事の番号に更新される。

`vn`が起動されると、`"Visual News,..."`というメッセージが出た後、ニュースグループ名がいくつか表示される。この間に`vn`はスプールディレクトリ上にある記事を走査し、記事のヘッダから必要な情報を抽出する。表示されるグループ名は、実際に読むべき記事が見つかったものの名前である。この走査するフェーズの時間は、記事の数に依存する。記事が多いとかなりの時間がかかることになる。

記事の走査が終わると、その後の動作は迅速になされる。バックグラウンドで実行されている場合には、先に述べた最初のメッセージやグループ名の羅列は出力されない。これは、記事を表示するフェーズに入るまで、`vn`の実行が端末への出力により止まってしまうことのないようにするためである。従って、最初`vn`をバックグラウンドで起動して、しばらく他の仕事をし、`vn`の実行が(端末への出力により)止まったらフォアグラウンドにまわして記事を読むというようなことも可能である。

`.newsrsrc`に書かれていないニュースグループがある場合にはその旨を通知し、そのグループに読むべき記事があったかどうかにかかわらず、`.newsrsrc`にそのグループを追加する。最初に`vn`を使用した時には、この「`.newsrsrc`になかったグループ」のリストは大変長く、画面からあふれるかもしれない。それ以後は、新しいグループが生成された時

のみその旨が通知される。これは、新しいグループが生成され、.newsrsrcに変更が加えられたことを利用者に知らせるためのものである。

表示の基本単位は「ページ」と呼ばれる記事のメニューである。1つのページには、読もうとしているニュースグループ名に続いて、記事のタイトル、行数、投稿者名のリストが表示される(以下、ページを表示している状態を“記事選択モード”と呼ぶ)。複数のグループにクロスポストされた記事は、1回のvnの実行中には1度しか登場しないようになっている。既に読まれていて.newsrsrcに登録されている記事については、番号の前に“\_”がつけられる。コマンドにより記事に“\*”マークをつけることも可能である(1コラム目と2コラム目は“\*”と“\_”のために最初からあけてある。これは、一般の利用者は、実際にマークがつけられるまでその存在に気づかないだろうという配慮によるものである)。

記事選択モードにおいては、カーソルのある記事、ページ全体、あるいは特定の記事の集合に対して、それらの記事を読んだり、セーブしたり、プリンタに出力したりすることが可能である。記事の集合は、記事の番号/タイトル/投稿者名の正規表現、あるいは“\*”によるマークづけにより定義される。これらの指定のいずれにおいても、「それ以外のもの」を表す“!”をつけることができる。

何も指定しないと、記事を読む際記事のヘッダのうち数行のみが表示されるが、vn中のコマンドにより、ヘッダ全体を表示するようにすることが可能である。このコマンドは、ヘッダ全体を表示するモードと、数行のみを表示するモードとの間のトグルスイッチの働きをする。同様に、ROT13による記事の暗号化(及び解読)にもトグルスイッチが用意されている。

vnにおいては、JISコードで書かれた漢字のニュースを読むことができる。この際、端末出力用の漢字in,outのシーケンスとしては、それぞれ termcap中に“Ki”及び“Ai”が指定されていればそれらを使用し、指定されていなければデフォルトとしてそれぞれ“ESC- $\$$ -@”及び“ESC-(J)”を使用する。

またvnはダイジェストニュースを展開する機能を備えている。展開のためのコマンドを入力すると、ダイジェストニュース中の記事に関するページが表示される。このページは、通常のグループに対するページと同様にアクセスすることができる。このダイジェストページを抜けると再び通常のグループのページに戻る。もちろんダイジェストニュースを1つの記事として読むことも可能である。

記事を読む際、何も指定していないとvn内蔵のページャが起動されるが、環境変数 VNPAGERにページャ名を設定しておけば、別のページャで記事を読むことも可能である。ただし別のページャを使用すると、内蔵ページャ中で入力可能なコマンドは使用できない。内蔵ページャで読むか、別のページャで読むかは、記事選択モードのコマンドで切り換えることができる。また、vn起動時のページャをどちらにするかも、VNPAGERの設定方法により指定可能である。詳しくはVNPAGERの項を参照のこと。

ページの登場順序は、.newsrsrc中のグループの順序によって決まる。.newsrsrcに書かれていないグループがあった場合は前述のようにその旨が通知され、.newsrsrcの末尾にそのグループが追加される。存在しないグループは.newsrsrcから削除される。利用者はまず1度vnを実行し(この際、-nオプションを用いて1つのグループのみを指定すると実行に時間がかからない)、その後好みの順序になるように.newsrsrcを編集するとよい。



.newsrsrc中のデータを更新するかどうかは、利用者の意志に任せられる。W,w,Ctrl-W,o,Oコマンドを実行しなければ、.newsrsrcは更新されず、次にvnを実行した時に再びそれらの記事を読むことになる。更新を行わずにvnを終了しようとする、確認のためのメッセージが出る。

vnにおいては、「読んだ記事について更新を行う」操作は表示されたページを単位として行われるのであって、個々の記事について行われるのではないことに注意する必要がある。

記事選択モードでBreakキー(Ctrl-Cなど)を押すと、"Reallyquit?"というメッセージが出力される。これに"n"と答えると、再び元のページに戻る。内蔵ページャで記事を読んでいる最中にBreakキーを押すと、その記事の最後までジャンプする。

コマンドは全て1文字(続けてリターンキーを押す必要はない)であり、いくつかのコマンドにおいてはその前に数字を指定することができる。さらに入力に要する場合にはプロンプトが出力される。プロンプトに続く入力においては、入力する文字列に続いてリターンキーを押さなければならない。この場合入力の修正用にerase,killキーを使用することができる。

#### ◆ 記事選択モードのコマンドメニュー

・[]内は、コマンド名の前に数字を指定した場合の数字の意味である。

・ファイル名として"|"で始まるものを指定すると、"|"の後に書いた名前のフィルタを意味する。

・記事の指定は、記事番号の組、タイトルや投稿者名中の文字列、"\*"によるマークづけにより行う。いずれの場合も否定を表す"!"を使用することができる。

q - vnを終了

k,カーソル上 - カーソルを上へ[移動する行数]

j,カーソル下 - カーソルを下へ[移動する行数]

<BS>,カーソル左 - 前のページへ[移動するページ数]

<Return>,カーソル右 - 次のページへ[移動するページ数]

d - ダイジェストニュースを展開

r - 記事を読む[読む記事数]

<Space> - rと同じ

R - ページの全ての記事を順に読む

Ctrl-R - 記事を指定して読む

s - 記事をファイルにセーブ、またはフィルタに送る[記事数]

S - ページの全ての記事をファイルにセーブ、またはフィルタに送る

Ctrl-S - 記事を指定してセーブ(またはフィルタに送る)

Ctrl-T - Ctrl-Sと同じ

p - 記事をプリンタに出力[出力する記事数]

P - 現在のページの全ての記事をプリンタに出力

Ctrl-P - 記事を指定してプリンタに出力

w - 表示中のグループについて、カーソル位置の所まで読んだ状態に.newsrsrcを更新

W - 表示中のグループの全ての記事について.newsrsrcを更新

Ctrl-W - 表示された全てのグループについて.newsrsrcを更新

o - 表示中のグループについて、.newsrsrcをvn実行前の状態へ

O-全てのグループについて、.newsrcをvn実行前の状態へ  
 #-表示されるグループ・ページの数、総計を表示  
 %-新しい記事のあるグループ名と更新された数を表示  
 n-表示する(またはresubscribeする)グループの指定  
 u-表示中のグループをunsubscribeする  
 x-記事の"\*"マークをつける/消す(トグル)[記事数]  
 \*-xと同じ  
 X-ページの全てのマークを消す  
 h-記事のヘッダを全て表示するかどうかのトグルスイッチ  
 g-内蔵ページ/別のページの間のトグルスイッチ  
 z-ROT13をかけるかどうかのトグルスイッチ  
 <formfeed>-画面のリフレッシュ  
 !-UNIXのコマンドを実行  
 ?-ヘルプメニュー(このメニューの英語版)を表示

内蔵ページの中(以下、内蔵ページで記事を読んでいる状態を“ページモード”と呼ぶ)では、記事を表示することの他に、投稿者へのリプライメールの送付、フォローアップニュースの投稿、記事のセーブやキャンセルを行うことができる。読んでいる記事の残りをもう読みたくなければ、Breakキーを押せばその記事の出力は終了される。記事を読んでいる途中から、現在のページ(記事一覧)に戻ったり次のページに移ったりすることもできる。

記事をファイルにセーブする際(記事選択モード、ページモードとも)セーブ先のファイル名にフルパスを与えなかった場合に基準となるディレクトリは、デフォルトではカレントディレクトリであるが、環境変数VNSAVEで指定しておくこともできる。

また、セーブ時にはセーブプログラムを通すことができるので、ニュースグループによって自動的にセーブするディレクトリを変えたりといったようなことが可能になる。環境変数VNSAVERにセーブプログラム名を設定しておくと、セーブ時にこのセーバが呼ばれる。

呼出しの形式は

saver名 <spool directory> <file1> <file2>... <save name>

である。<spool directory>は記事の存在するディレクトリ名であり、<file1>などは記事のファイル名(記事番号と同じ)である。複数の記事を一度にセーブするときは、それらの名前が全てセーバに渡される。<save name>は、セーブする際に指定したファイル名(フルパス)である。

例)fj.generalの記事10,11を/usr/me/vn.saveにセーブしようとする時、

saver名 /usr/spool/news/fj/general 10 11 /usr/me/vn.save

という形式でセーバが呼ばれる。

投稿者にリプライメールを出したりフォローアップニュースを投稿したりする時にはエディタが起動される。編集するファイルには元の記事が行頭に">"のついた形で挿入されるので、それを適当に編集してメールやニュースを作成するとよい。エディタを終了すると、メールやニュースを出すのかどうかの確認が行われるので、そこで中止す

ることも可能である。フォローアップニュースを投稿した時には、その記事がログインディレクトリ上の"author\_copy"というファイルに追加される。フォローアップやリプライを中止した場合、あるいはフォローアップニュースにおいて">"による引用が多過ぎて投稿できなかった場合は、編集していた内容がログインディレクトリ上のdead.article(ニュースの場合)、dead.letter(メールの場合)というファイルに追加される。

メイラやニュースのポストプログラムのためのヘッダは編集する内容に含まれるので、それを修正することも可能である。ヘッダと記事の本文の間には空行を入れることを忘れてはならない。

フォローアップニュースは、元の記事にFollowup-To:行が存在すれば、そこに記述されているグループに投稿される。Followup-To:行がない場合には、通常は元の記事と同じグループに投稿されるが、元の記事がxx.generalというグループに投稿されていた場合は、xx.followupというグループが存在するかどうか調べられ、存在すればxx.followupに、存在しなければxx.generalに投稿される。

エディタとして何を使うかは、postnewsの場合と同じく環境変数EDITORの値によって決まる。EDITORが設定されていなければ、vi(またはそれぞれのサイトで定められたデフォルトのエディタ)が起動される。

リプライメールやフォローアップニュースを出す際、環境変数VNFILTERにフィルタ名を指定しておく、編集したファイルがそのフィルタにかけられてからメイラやポストプログラムに渡される。これにより、漢字シーケンスの修正、コード変換などを自動的に行うことが可能になる。

#### ◆ ページャモードのコマンドメニュー

ファイル名として"|"で始まるものを指定すると、"|"の後に書いた名前のフィルタを意味する。

- n- 次の記事へ
- q- 記事から抜けて元のページに戻る
- Q- 記事から抜けて次のページへ
- r- 記事の最初に戻る
- <return> - 1行スクロール
- /- 文字列の検索
- m- 投稿者にリプライメールを送る
- f- フォローアップニュースを投稿
- C- 記事をキャンセル
- s- 記事をファイルにセーブ、またはフィルタに記事を送る
- p- 記事をプリンタに出力
- ?- ヘルプメニュー(このメニューの英語版)を表示
- z- ROT13をかけるかどうかのトグルスイッチ
- h- 記事のヘッダを全て表示するかどうかのトグルスイッチ
- 他のキー - 1画面スクロール

コマンド名は、気に入らなければ自分用に変更することができる(もともとコマンド名は、ページャモードのものはmore風になっており、記事選択モードでの"j","k"コマン

ドはvi風のものである。ページャモードの他のコマンドはreadnewsの仕様に基づいている)。コマンド名の変更には、ログインディレクトリ上の.vnkeyというファイルを用いる。vnkey中の書式は簡単である。各行はRまたはP(r,pでもよい)で始まる。R(またはr)はページャモードのコマンド、P(またはp)は記事選択モードのコマンドについての名前変更を意味する。続いて

<char>=<char> (<char>は1つの文字)

の形で変換様式を指定する。等号の左辺の文字は新しくコマンド名としたい文字を表し、右辺は左辺の文字に変換したい元のコマンド名を表す。式の中には空白が入ってはいならない。R,P,r,pで始まっていない行は無視されるので、空白や"#"で始めるなどして注釈を入れることもできる。また式の後に書いた文字も無視される。

例) Pd=j  
Pu=k

は、記事選択モードの"j","k"コマンドの代わりに"d","u"をそれぞれ使うことを意味する。この場合には、"d","u"の本来の機能(ダイジェストニュースの展開、グループのunsubscribe)を行うコマンドがなくなるので、"d","u"も他のキーに変換しておく必要がある。このように、vnkeyでコマンドの変換を行った場合には、元々ある全ての機能に対してコマンド名が割当てられているかどうかを管理するのは利用者の責任である。特に、記事選択モードの"q"コマンドを実行できなくしてしまうと困ったことになるので注意が必要である。

表示されるヘルプメニューは新しいコマンドキーに対するものになる。まずい変換のし方をすると、同じキーに対して複数の機能が表示されたり、2つのキーの機能を交換しようとした場合にそれらが表示されなかったりすることがある。

"="キーは"=="と書くことにより指定できる。vnkey中で指定されていないキーの機能は変化しない。

コントロールキーはそのキーのASCIIコードを表す10進数(バックスラッシュなどを付けない)で指定することができる。

例) P24=12  
P12=?

は、Ctrl-XをCTRL-L(formfeed)の代わり、即ち画面のリフレッシュに使い、Ctrl-Lを"?"の代わりに使うことを意味する。定義されていないキーを全て"?"にマッピングしておけば、不当なキーを押した時に自動的にヘルプメニューを表示させることができる。このような場合、"? for help"という表示の"?"やヘルプメニュー上の"?"の代わりには、最後に"?"にマッピングされた文字が使用される。

Ctrl-AからCtrl-Zまでは1から26で、deleteキーは127で表される。ただし、Ctrl-C,Z,S,Qのように端末の制御などにOSが使用するキーは使えない。

カーソルキーを使えるようにするためと、コマンドの前に数を指定できるようにするため、ESCキー及び数字キー("0"-"9")は記事選択モードのコマンドとしては使えない。vnkey中でそのように指定しても無視される。

記事選択モードのコマンドの場合もページャモードのコマンドの場合も、"return"キーと"linefeed"キーは共に(.vnkey中で指定しなくても)"newline"にマッピングされて

いる。"return"キーを何かにマッピングする際、"newline"のASCIIコードがわからなければ、ASCIIの10と13を共にマッピングするとよい。

コマンドキーのマッピング機能に加えて、ページャモードにおいては、記事をフィルタに送る操作をコントロールキーにアサインすることができる。フィルタとコントロールキーとの対応の定義は、ログインディレクトリ上の.vncmdというファイルで行う。このファイルに

```
<char> <white space> <command>
```

の形で対応を記述する。<char>は英字1文字(大文字でも小文字でもよい)であり、Ctrl-?の?を意味する。この後に1個以上の空白またはタブを置き、記事にかけるフィルタ名を書く。すると、ページャモードでCtrl-<char>を押すことにより記事をフィルタ<command>に送ることができる。最初の非空白文字が英字でない行は無視されるので、"#などで始めて注釈を書くこともできる。

```
例) R less-r
 E egrep '^References:'
```

lessはローマ字less)としておくと、ページャモードでCtrl-Rを押せばローマ字の記事をかなで読むことができ、Ctrl-Eを押せば記事のReferences:行を見ることができる。

ただし、Ctrl-J, Ctrl-Mは既に"newline"としてページャモード中のコマンドに使用されているので定義できない。また、.vnkeyの場合と同じ理由で、Ctrl-C, Z, S, Qのようなキーも使用できない。

さらに、.vnkeyと.vncmdを組み合わせることにより、コントロールキー以外にもフィルタをアサインすることができる。つまり、.vncmdの中で適当なコントロールキー(Ctrl-S, Ctrl-Qなどの直接入力できないキーを選ぶとよい)にフィルタをアサインしておき、.vnkey中でそのキーを別の(コントロールキー以外の)キーにマッピングすればよい。

## FILES

/usr/tmp/\*

tmpnam(3)によって作られる一時ファイル。vn実行中は更新のモードでオープンされる。作られるとすぐにunlinkされるが、実際に領域が解放されるのはファイル記述子をクローズする際(vn終了時)である。ページに表示される内容を全て持つので、かなり大きくなることがある。リプライメールやフォローアップニュースを出したり、ダイジェストニュースを展開する時にもtmpnam(3)によりテンポラリファイルが作られる。

(login directory)/.newsrsrc

各グループを読むかどうか、どこまで読んだかなどを記述するファイル。vnを実行すると更新される。環境変数NEWSRCの項も参照のこと。

(login directory)/author\_\_copy

フォローアップコマンドにより投稿された記事

が、/bin/mailのフォーマットでこのファイルに追加される。環境変数CCFILEの項も参照のこと。

(login directory)/.vnkey

コマンド名を変更するためのキーのマッピングファイル。環境変数 VNKEYの項も参照のこと。

(login directory)/.vncmd

ページャモードで記事をフィルタにかける機能をコントロールキーにアサインする場合のマッピングファイル。環境変数 VNCMDの項も参照のこと。

(login directory)/\*.vnXXXXXX

newsrsrcを更新する際にtmpnam(3)により作られるテンポラリファイル。newsrsrcが正しく更新された場合は削除されるが、更新に失敗した場合はその旨が通知され、元の状態を復元できるようにするためにこのファイルは残される。

(spool directory)/\*

記事を保持するスプールディレクトリ。

/usr/lib/news/active

アクティブなニュースグループのリスト。

## ENVIRONMENT VARIABLES

PS1

vn中からUNIXのコマンドを実行する時のプロンプト。デフォルトは"\$ "。

EDITOR

リプライメールやフォローアップニュースを作成する際に起動されるエディタ。デフォルトは"vi"(またはそれぞれのサイトで定められたデフォルトのエディタ)。

POSTER

フォローアップニュースを出す時のポストプログラム。デフォルトは"inews -h"。

MAILER

リプライメールを送る時のメイラ。デフォルトは"sendmail -t"。

PRINTER

記事をプリンタに出力する際に使用するプログラム。デフォルトは"lpr"。

NEWSRC

この変数が設定されていると、ログインディレクトリ上の.newsrcの代わりにこの変数で示されるファイルが使用される。名前が"/"で始まっていない場合には、ログインディレクトリからの相対パス名と見なされる。

CCFILE

この変数が設定されていると、自分の出したフォローアップニュースをセーブするファイルとして、

ログインディレクトリ上の `author__copy` の代わりにこの変数で示されるファイルが使用される。名前が `"/"` で始まっていない場合には、ログインディレクトリからの相対パス名と見なされる。

#### VNKEY

この変数が設定されていると、コマンドキーのマッピングを示すファイルとして、ログインディレクトリ上の `.vnkey` の代わりにこの変数で示されるファイルが使用される。名前が `"/"` で始まっていない場合には、ログインディレクトリからの相対パス名と見なされる。

#### VNSAVE

この変数が設定されていると、記事のセーブ時に基準となるディレクトリとして、カレントディレクトリの代わりにこの変数で示されるディレクトリが使用される。ただし、`"/"` または `"$"` で始まる名前をファイル名として与えると、この変数とは関係なくそのパスにセーブされる。

#### VNSAVER

この変数が設定されていると、この変数で示されるプログラムを通して記事のセーブが行われる。

#### VNCMD

この変数が設定されていると、ページャモードで記事をフィルタにかける機能をコントロールキーにアサインする場合のマッピングファイルとして、ログインディレクトリ上の `.vncmd` の代わりにこの変数で示されるファイルが使用される。名前が `"/"` で始まっていない場合には、ログインディレクトリからの相対パス名と見なされる。

#### VNPAGER

内蔵ページャとは別のページャを使用したいとき、この変数にページャ名を設定しておく。ページャのパス名の後に `"%"` をつけておくと、`vn` 起動時からこのページャが使用される。`"%"` をつけなければ、`vn` 起動時は内蔵ページャが使用され、記事選択モードの `g` コマンドで切り換えて初めて指定したページャが使用される。

例) `setenv VNPAGER /usr/local/bin/less`  
... 起動時のページャは内蔵ページャ  
`setenv VNPAGER /usr/local/bin/less%`  
... 起動時のページャは `less`

#### VNFILTER

この変数が設定されていると、リプライメールやフォローアップニュースが、この変数で示されるフィルタにかけられてからメイラやポストプログラムに渡される。

## DIAGNOSTICS

エラー時にはエラーメッセージが出力されるので、それを参照されたい。

## AUTHORS

(順不同、敬称略)

・オリジナル vn

R. L. McQueer

・バージョンアップ

石橋 勇人 <ishibashi@doshita.kuis.kyoto-u.junet>

Hidekazu Enjo <enjo@nttdpe.ntt.junet>

森崎 まさと <morisaki@nttdpe.ntt.junet>

齊藤 明紀 <saitoh@icsts1.handai.junet>

渡辺 美樹 <yoshiki@gama.is.tsukuba.junet>

金崎 克巳 <kana@charlie.ricoh.junet>

・日本語マニュアル

太西 達也 <ohnishi@kutsuda.kuis.kyoto-u.junet>

(1988年3月まで)

## ACKNOWLEDGEMENT

オリジナルの作者である McQueer 氏に感謝します。また、機能拡張やバグフィックスに協力していただいた皆様、その他、このプログラムを利用いただいているすべての JUNET-people に感謝をこめてこのメッセージを贈ります。(石橋)

## BUGS

readnews は .newsrsrc 中の行の順序を並べ替えることがあるので、vn と readnews を併用すると、自分の好みの順序に .newsrsrc を並べ替えていても変更されてしまうことがある。

vn は記事をどこまで読んだかをページ単位で管理しており、個々の記事ごとに管理することはできない。従って途中のいくつかの記事だけ飛ばして読んだことにする、といったことはできない。

スプールディレクトリにある記事の最大番号より大きい値を示しているグループが .newsrsrc 中にあると、vn はそのグループの全ての記事を表示する。これは、スプールディレクトリがリセットされた場合や、マシンが変わったけれども .newsrsrc を編集しなおしていないような場合に、読まれずに終わる記事がないようにするためである。つまり、誤って読まれない記事があるよりは古い記事を読まされるほうがよいという考え方による。

ページャモードで Break キーを押すと、記事から抜けるだけでなくページャのプロンプトが出力されなくなってしまうことがある。このような状態でもコマンドは正常に動作する。

vn の出すプロンプトがコントロールコードなどの印字されない文字を含んでいると、そのプロンプトが出た時に、以前のその行の内容が完全に消えないことがある。こ



れは、印字されない文字もvnはプロンプトの文字数に数えるので、前の内容がプロンプトにより消えると判断するためである。このようなことは、UNIXのコマンドを実行する時のプロンプトにエスケープシーケンスの入ったもの(漢字など)を指定して"!"コマンドを実行した場合などに起こる。「前の内容が消えるか」のチェックは、行をクリアするようなシーケンスをなるべく出力しないで済むように行っているものである(端末がそのようなシーケンスを持っていない場合には、行末までブランクを出力しなければならず、1200baudなどで使っているとこれに悩まされることになる)。

最初に、vnが記事を走査する際に出力する情報(記事が見つかったグループ名など)は、バックグラウンドにまわされる(または最初からバックグラウンドで起動する)と出力されなくなるが、途中からフォアグラウンドに持って来ても再開されない。実際にはこのことは、端末に何も出力させずにフォアグラウンドで記事の走査を行わせることを出力のリダイレクションを使用せずに行う方法となる。そんなことが必要ならばの話であるが。

-w、-tオプションを多く指定すると、最初にvnが記事を走査する時間が非常に長くなる。このような指定は少数のグループに対してのみ行うか、またはバックグラウンドにまわして、vnがニュースを読んでいる間他のことをするようにした方がよいと思われる。未読の記事が多い場合にも最初の記事走査の時間が長くなる。この対策としてもバックグラウンドにまわすことが挙げられるが、本質的改善のためにはクライアント-サーバ方式にすることが望まれる。

ダイジェストニュースの展開のためのコマンドを入力すると、ダイジェストニュースが記事間に"----..."という行や空行が入った正しいフォーマットで書かれている場合は、1つのダイジェストニュースが正しく複数の記事に展開され、記事ごとにタイトルが表示される。しかし正規のフォーマットで作成されていないダイジェストニュース(入手で作成したものなど)の場合には展開が行われなかったことがある。

%コマンドは、各グループを最後に更新した時の番号と現在存在する最大の番号との差を出力する。読んだことのないグループを読むときや-w、-tオプションを指定していたときなどは、この差は実際に読むことになる記事の数より大きくなることもある。また、%コマンドで各グループにつけられる番号は.newssrc中の順序を示しており、間にunsubscribeされた記事があると番号が飛び飛びになる。

キーをマッピングする際、ファンクションキーを何かにマッピングすることはできない。また、コントロールキーをコマンドとして使用できるようにしているため、カーソルキーのシーケンスがESC以外で始まるような端末ではカーソルキーを使用できない。このような端末では、最初にその旨を通知する警告メッセージが出力される。

## 付録 D

### JUNET内のサイトマップ

1. JUNET接続サイトマップ
2. JUNETに接続されているドメイン・リスト

## 1.JUNET接続サイトマップ

### 表記法

1. (組織名)

2. サイト名の右から出ている接続

同一ドメイン(組織)内の接続を表す

```
site1--+-site2
 +-site3
```

3. サイト名の中程から出ている接続

異なるドメイン(組織)間の接続を表す

```
+---site2
|
site1
|
+---site3
```

4. #####での接続

```
site1
#
#---site2
#
#---site3
#
#---site4
|
+---site5
```

というのは、

```
site1
|||
|||+---site2
|||
|||+---site3
|||
|||+---site4
|||
+-----site5
```

という意味。

5. 大文字のサイト名。

--SITE1

以前の調査では反応があったのに、今回は、返答が無かったサイト。

全133サイト

```
#--dclic
#
#--secisl
#--seikei
#
#--jnglab
#--astd
|
+-kiwi(juice)--seaside--kwmux----jmis
#
#--assun (SIGMA)
#
#--dlabvax (上智大)
#
#--astecv (アステック)
#
+-sraivos
+-sraivb
+-sraivd
+-SRAVC
#--srava-+-SRAGW (SRA)
#
#---nccva-+-CEC8000
+-nccs1
+-NCCS2
#--sonyvd-+-sonyve---isrcne--isrcng
+iwai1
+kos2
#--hstvax
#--jsdvax---NTSVAX
#
+-fxvax (FUJIXEROX)
|
#--kossvax-+-k3sun3 (慶応大)
| +-koccvax
| +-koscvox
| +-KOEAVAX
|
+-PATY-+-charlie (リコー)
+-ELTPDP-+-ELTFUJI--HODAKA
+-RSKVAX
#
#
```

```

#--tsb0 (東芝)
#
+---pfrad (パナファコム)
+---AYUMI
#--flab+---TRITON (富士通)
| +---ku01----au01
|
#--cskvax
#--digita
#
#--ascgw+---ascvax (アスキー)
+---rshvax
+---edpvax
#
#--necsp1---nsisv2--nsisas2 (NEC)
#-----+
#
titcca+---koudai (東工大)
+---tansei
+---TAKASHI
+---TAKUYA
+---TOMOYO
+---KAORI
+---titnca---TITNCE
+---titisa
+---TITNCA
+---titcce
#
+-----+
#--ccut--tansei (東大)
| #--asrvax--kyoto
| #--rrlcc
| #--sacred (聖心)
| #--trla (IBM-TRL)
| #--uecra
| |
| |
| kddlabb---kddspeak (KDD)
| #
| # +---atr-ln
| # +---atr-sw
| #----atr-la---+---atr-hr (ATR)
| |
| |

```

```

#---icot
#
#----casun1---cau1 (キャノン)
#----jepri(DENKEN)
#----okis1(OKI)
|
|
+-ETLVAX
+-etlcom (電総研)
| +-----+
#-gama | (筑波大学)
+-ulisvax-ulispdp | (図書館情報大)
|
#---tutics
#---hubs | (北大)
+-----+
|
nttlab-+-nttsp1-+-nttspa (NTT)
| +---ntts1b
|
+-nttdpe-+-nttdpf---NTTOSE
| +-ntttsd
| +-nttbcs-+-nttvdt--nttcoin
| | +-nttkb
| +-NTTCVG
#
#--yufuji (山梨大)
#
+-hagiwara----yajima
+-doshita
+-kuee---kueif1
+-kurims----->[iegva1]
#-kuis-+-kutsuda (京大)
| +-octpat
| +-sakains
|
+---heway(kaba)
#
#
#--ouicsu-+-ics750 (阪大)
+-icssm----icsts1--creamy--mercury--venus
+-fuji3
#
#-iegva1-+-wrlvx (松下)
+--->[kurims]
#
#--shpnar-+-SHPVAX (シャープ)
+---shpcs1
#--abc (朝日放送)

```

```
+--kusys4--kbrs4b (神戸大)
#
```

```
#--suvax1---SUVAX0 (静岡大)
```

```
|
+-rdvsx1-rdnew2 (ローランド)
```

```
#
#--kyu-cs---+--kyu-cc (九州大)
```

```
+--csce
```

```
+--SOFTW
```

```
+--qecuts
```

```
#
```

```
#-tsuda
```

```
#
```

```
#--flats(riken)
```

```
 |
 +decjrd
```

2. JUNETに接続されているドメイン・リスト(アルファベット順)

|    |           |                                                      |
|----|-----------|------------------------------------------------------|
| 1  | air       | AI Language Research Institute, Ltd.                 |
| 2  | anritsu   | Anritsu Corp.                                        |
| 3  | aoyama    | Aoyama Gakuin University                             |
| 4  | asahi     | Asahi Broadcasting                                   |
| 5  | asahi-np  | The Asahi Shimbun Publishing Company                 |
| 6  | ascii     | ASCII Corporation                                    |
| 7  | asp       | ASP Corp.                                            |
| 8  | asr       | ASR Corporation                                      |
| 9  | astd      | AST Souken                                           |
| 10 | astec     | ASTEC, Inc.                                          |
| 11 | astem     | Astem Research Institute                             |
| 12 | atr       | Advanced Telecomm. Research Inst. International      |
| 13 | att-j     | AT&T Unix Pacific Co., Ltd.                          |
| 14 | brother   | Brother Insudtry Co. Ltd.                            |
| 15 | cac       | Computer Applications Co. Ltd.                       |
| 16 | canon     | Canon Inc.                                           |
| 17 | canopus   | Canopus Ele. Co. Ltd.                                |
| 18 | casio     | Casio                                                |
| 19 | cec       | Chuo Elec. Co.,Ltd.                                  |
| 20 | chukyo-u  | Chukhyo University                                   |
| 21 | chuo-u    | Chuo University                                      |
| 22 | ciea      | Central Inst. of Exp. Animal Pre-Clinical Lab.       |
| 23 | citoh     | C.Itoh & Co., Ltd.                                   |
| 24 | crl       | Communications Research Laboratory                   |
| 25 | csk       | CSK Corporation                                      |
| 26 | dcl       | Digital Computer Limited                             |
| 27 | dec-j     | Nihon Digital Equipment Corporation                  |
| 28 | denken    | Central Research Inst. of Electric Power Industry    |
| 29 | dit       | dit Co., Ltd.                                        |
| 30 | dnp       | Dai Nippon Printing Co., Ltd.                        |
| 31 | edr       | Japan Electronic Dictionary Research Institute, Ltd. |
| 32 | eric      | Eric                                                 |
| 33 | etl       | Electrotechnical Laboratory                          |
| 34 | fit       | Fukuoka Institute of Technology                      |
| 35 | foretone  | Foretone Co., Ltd                                    |
| 36 | fujitsu   | Fujitsu Ltd.                                         |
| 37 | fujixerox | Fuji Xerox CO., Ltd.                                 |
| 38 | fukui-u   | Fukui University                                     |
| 39 | fukuoka-u | Fukuoka University                                   |
| 40 | gctech    | Graphics Communication Technologies R&D Dept.        |
| 41 | global    | Global Softwares                                     |
| 42 | gsj       | Geological Survey of Japan                           |
| 43 | gunma-u   | Gunma University                                     |
| 44 | hankyu    | Hankyu Dentetsu Corp.                                |
| 45 | hitachi   | Advanced Research Laboratory, Hitachi, Ltd.          |



|    |           |                                                  |
|----|-----------|--------------------------------------------------|
| 46 | hokudai   | Hokkaido University                              |
| 47 | horiba    | Horiba Seisaku                                   |
| 48 | hst       | Hirata Software Technology Co., Ltd.             |
| 49 | ibmtrl    | Tokyo Research Laboratory, IBM Japan, Ltd.       |
| 50 | icm       | ICM Co. Ltd.                                     |
| 51 | icot      | Institute for New Generation Computer Technology |
| 52 | ihi       | Ishikawajima-Harima Heavy Industries Co.,Ltd.    |
| 53 | ijaic     | ICOT-JIPDEC AI Center                            |
| 54 | intec     | Intec Corp.                                      |
| 55 | ipa       | Info. Proc. Assoc.                               |
| 56 | ipri      | Industrial Products Research Institute           |
| 57 | isac      | International Sekisu AI Corporation              |
| 58 | ism       | Toukei Suuri Kenkyuujō                           |
| 59 | jip       | Japan Information Processing Service Co.,Ltd.    |
| 60 | jsd       | Joint System Development Corporation             |
| 61 | jus       | Japan Unix Society                               |
| 62 | jusoft    | Nippon Unisoft Corporation                       |
| 63 | k3        | Kanri Kougaku Kenkyuujō                          |
| 64 | kaba      | Kyoto Artificial Brain Associates                |
| 65 | kajima    | Kajima Corp.                                     |
| 66 | kansai-u  | Kansai University                                |
| 67 | kao       | Kao                                              |
| 68 | kcs       | Koube Computer Service Co., Ltd.                 |
| 69 | kddlabs   | KDD Lab.                                         |
| 70 | keio      | Keio University                                  |
| 71 | kiic      | Kyoto Industry Information Center                |
| 72 | kit       | Kyoto Institute of Technology                    |
| 73 | kk        | Kozo Keikaku Engineering Inc.                    |
| 74 | kobe-u    | Kobe University                                  |
| 75 | konan-u   | Konan Univ.                                      |
| 76 | kpress    | Kabushiki Shinbun                                |
| 77 | kubota    | KUBOTA Ltd.                                      |
| 78 | kurume-it | Kurume Institute of Technology                   |
| 79 | kyocera   | Kyocera Tokyo Central Research Laboratory        |
| 80 | kyoto-su  | Kyoto Sangyou University                         |
| 81 | kyoto-u   | Kyoto University                                 |
| 82 | kyushu-id | Kyushu Institute of Design                       |
| 83 | kyushu-u  | Kyushu University                                |
| 84 | kyutech   | Kyushu Institute of Technology                   |
| 85 | m-kasei   | Mitsubishi Kasei                                 |
| 86 | mei       | Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.         |
| 87 | meiji-u   | Meiji University                                 |
| 88 | mel       | Mechanical Engineering Laboratory                |
| 89 | melco     | Mitsubishi Electric Corporation                  |
| 90 | minpaku   | National Museum of Ethnology                     |
| 91 | mita      | Mita Industrial Co., Ltd.                        |
| 92 | mot-j     | Motorola Japan                                   |
| 93 | mri       | Mitsubishi Research Institute, Inc.              |
| 94 | msr       | Mitsuizosen Systems Research                     |

|     |                 |                                                |
|-----|-----------------|------------------------------------------------|
| 95  | n-denso         | Nihon Denso Corp.                              |
| 96  | nacsis          | National Center for Science Information System |
| 97  | nagano          | Nagano University                              |
| 98  | nagaoka         | Nagaoka University of Technology               |
| 99  | nagaoka-coltech | Nagaoka College of Technology                  |
| 100 | nagoya-u        | Nagoya University                              |
| 101 | nara-k          | Nara National College of Technology            |
| 102 | ncc             | NRI & NCC Co. Ltd.                             |
| 103 | ndg             | Nihon Data General                             |
| 104 | nec             | NEC Corporation                                |
| 105 | nig             | National Institute of Genetics                 |
| 106 | nikon           | Nikon Corp.                                    |
| 107 | nitech          | Nagoya Institute of Technology                 |
| 108 | nsc             | Nippon Steel Corporation                       |
| 109 | nts             | Nippon Timeshare Co., Ltd.                     |
| 110 | ntt             | Nippon Telegraph and Telephone Corporation     |
| 111 | oita-u          | Oita University                                |
| 112 | oki             | Okai Electric Industry Co., Ltd.               |
| 113 | omron           | OMRON Tateisi Electronics Co.                  |
| 114 | osaka-cu        | Osaka City University                          |
| 115 | osaka-u         | Osaka University                               |
| 116 | osakac          | Osaka Elec. & Comm. Univ.                      |
| 117 | peccom          | Sekiyu Sangyou Kasseika Center                 |
| 118 | pentel          | Pentel                                         |
| 119 | qmflp           | GOTO Quantum Magneto Flux Logic Proj.          |
| 120 | recruit         | Institute for Supercomputing Research, Recruit |
| 121 | ricoh           | RICOH Company, Ltd.                            |
| 122 | rikei           | Rikei Corp.                                    |
| 123 | riken           | Institute of Physical and Chemical Research    |
| 124 | roland          | Roland Corporation                             |
| 125 | rtri            | Railway Tech. Research Inst.                   |
| 126 | sanno           | SANNO College                                  |
| 127 | sanwa-ss        | Sanwa Seisakusho                               |
| 128 | sanyo           | SANYO Electric Co., Ltd.                       |
| 129 | sasebo          | Sasebo College of Technology                   |
| 130 | seclab          | SECOM Intelligent Systems Laboratory           |
| 131 | seikei          | Seikei University                              |
| 132 | sharp           | Sharp Corporation                              |
| 133 | sheart          | University of the Sacred Heart                 |
| 134 | shinshu-u       | Shinshu University                             |
| 135 | shizuoka        | Shizuoka University                            |
| 136 | sibasoku        | shibasoku Corp.                                |
| 137 | sigma           | Information-technology Promotion Agency, Japan |
| 138 | softbank        | Softbank Research Institute                    |
| 139 | sony            | Sony Corporation                               |
| 140 | sonytek         | Sony Tektro.                                   |
| 141 | sophia          | Sophia University                              |
| 142 | soum            | SOUM Corporation                               |
| 143 | sra             | Software Research Associates, Inc.             |

|     |            |                                                     |
|-----|------------|-----------------------------------------------------|
| 144 | stanley    | STANLEY ELECTGRIC Co., LTD.                         |
| 145 | sumiden    | Sumitomo Electric Industries, LTD.                  |
| 146 | sumikin    | Sumitomo Metal Industries                           |
| 147 | sun-j      | Sun Micro Inc. Japan                                |
| 148 | symbolics  | Nihon Symbolics Corporation                         |
| 149 | t-gitan    | Toyama Prefectural College of Technology            |
| 150 | tcomp      | Tokyo College of Medico Pharmaco                    |
| 151 | telema     | Telematique International Research Laboratories     |
| 152 | tis        | Toyo Information System                             |
| 153 | titech     | Tokyo Institute of Technology                       |
| 154 | tohoku     | Tohoku University                                   |
| 155 | tohoku-u   | Tohoku Univ. (Computer Center)                      |
| 156 | tokuyama   | Tokuyama National Technical College                 |
| 157 | toshiba    | Toshiba Corp.                                       |
| 158 | toyo       | Toyo University                                     |
| 159 | toyota-ti  | Toyota Technological Institute                      |
| 160 | tsuda      | Tsuda College                                       |
| 161 | tsukuba    | Tsukuba Univ.                                       |
| 162 | tuat       | Tokyo University of Agriculture and Technology      |
| 163 | tut        | Toyohashi University of Technology                  |
| 164 | tytlabs    | Toyota Central Research & Development Lab., Inc.    |
| 165 | u-tokyo    | Univ. of Tokyo                                      |
| 166 | uclosk     | Universal Computer Laboratory Corp.                 |
| 167 | uec        | University of Electro-Communications                |
| 168 | ulis       | University of Library and Information Science       |
| 169 | unisys     | Nihon UNISYS, LTD.                                  |
| 170 | waseda     | Waseda University                                   |
| 171 | yamagata-u | Yamagata University                                 |
| 172 | yamaha     | Yamaha Corporation                                  |
| 173 | yamanashi  | Yamanashi University                                |
| 174 | yaskawa    | Yaskawa Electric Mfg. Co., Ltd.                     |
| 175 | yhp        | Yokogawa Hewlett Packard Computer Operation         |
| 176 | ysc        | Yokohama Science Popularizing Association for Youth |

# 索引

## 【ア】

エイリアス 9

## 【カ】

カーボンコピー 9

記事選択レベル 52

国際科学技術通信網利用クラブ 1

## 【サ】

サブドメイン 1

## 【タ】

ターミナルサーバ 4

電子掲示板システム 10

電子メール 7

## 【ナ】

ニュース 10

ニュースグループ 10

ニュースグループ選択レベル 52

ニュースの出し方 43

ニュースの読み方 48

ネットワーク・アドレス 12

## 【ハ】

ファイル編集による分類 36

フォルダー 9

フォワード 9

ページャーモード 48

ページャーレベル 52

ボード(掲示板) 10

## 【マ】

メインドメイン 1

メールの送り方 24,40

メールの消去 34

メールのスクロール 34

メールの選択 33

メールの読み方 13,19,33

メールリスト 9

## 【ヤ】

## 【ラ】

ラベルにより分類 35

ローカルエリアネットワーク 1

ログイン方法 4

|                           |             |                             |             |
|---------------------------|-------------|-----------------------------|-------------|
| [A]                       |             | kanji-fileio-code           | 42          |
| abort                     | 27          | kanji-flag                  | 42          |
| alias                     | 9           | kanji-jis-end               | 42          |
| ATRのアドレス                  | 12          | kanji-jis-start             | 42          |
| [B]                       |             | [M]                         |             |
| byte compile              | 42          | mail                        | 7,13,18     |
| [C]                       |             | mail-archive-file-name      | 31          |
| cbreaモード                  | 56          | mail-list                   | 9           |
| change-kanji-display-code | 42          | mbox                        | 14,18,31    |
| change-kanji-fileio-code  | 42          | [N]                         |             |
| Carbon Copy               | 9           | Nemacs                      | 29,60       |
| [D]                       |             | [O]                         |             |
| DECコード                    | 42,47,51,56 | original insert-parentheses | 42          |
| dead.article              | 43          | original spell-word         | 42          |
| DISPLAY                   | 30          | [P]                         |             |
| [E]                       |             | PKnews                      | 47          |
| Emacs                     | 18          | Pnews                       | 43          |
| EMACSLoadPATH             | 30          | [R]                         |             |
| ESHELL                    | 30          | readnews                    | 48,60       |
| [F]                       |             | rfilter                     | 51          |
| folder                    | 9           | rlogin                      | 6           |
| forward                   | 9           | Rmail                       | 29,32       |
| [H]                       |             | rmail                       | 19,33       |
| hosts                     | 2           | rmail-file-name             | 32          |
| [I]                       |             | rn                          | 47,52,56,60 |
| Inetclub                  | 1,7,12      | rnews                       | 60          |
| insert-file               | 26          | [S]                         |             |
| insert parentheses        | 42          | smail                       | 24,40       |
| [J]                       |             | spell word                  | 42          |
| JISコード                    | 42,47,51,56 | [T]                         |             |
| JUNET                     | 7,10        | toggle-kanji-flag           | 42          |
| [K]                       |             | [W]                         |             |
| kanji-display-code        | 42          | write-named-file            | 28          |

|          |       |
|----------|-------|
| .emacs   | 31    |
| .mailrc  | 9     |
| .nemacs  | 31    |
| .newsrsc | 48,61 |